

I 総 論

1. 松戸市の概要

(1) 松戸市の位置

千葉県北西部（東葛飾地域）に位置し、西は江戸川を境に東京都（葛飾区）と埼玉県（三郷市）に接し、南は市川市、東は鎌ヶ谷市、北は流山市・柏市と接している。

また、都心より20km圏に位置し、市域は東西11.0km、南北11.5km、周囲58.0km、面積61.33k㎡である。

(2) 地 勢

市域は東西11.0km、南北11.5kmとなっており、ほぼひし形をしている。また、JR常磐線が市域西側をほぼ南北にはしり、これを境に江戸川に至る低地と下総台地の一部に属する起伏の多い台地とに分割されている。

昭和30年代までは、低地部分は水田に台地部分は畑作地域とした農耕が行われていたが、現在では市域のほぼ全域が市街化されつつあり、一部の地域でネギ、カブ、梨等の生産が行なわれているが、さらに宅地化が進行しつつある。

(3) 沿 革

本市の黎明は比較的早く、遠く原始時代にさかのぼり、市内各所の丘陵には多数の貝塚が分布し、縦穴住居跡も多数発見されている。また各時代においても交通の要衝として、さらに台地は城塞化し、しばしば戦渦にも見舞われている。

明治6年印旛県の廃止に伴い千葉県の管轄となり、東葛飾郡役所も旧松戸町に設置され（大正12年廃止）、これを契機に諸官署が次々と設置され、東葛飾地域の政治的中心地としての機能を発揮するようになった。

さらに昭和8年に明村を、同13年に八柱村を合併し、同18年に馬橋村・高木村を合併し同年4月1日市制を施行した。

その後昭和29年に小金町、同31年に沼南村の一部を編入し現在の市域が確立された。

昭和30年代になると新京成電鉄（松戸－津田沼）が開通し、市内陸部の交通近代化の実現、同時に日本住宅公団による常盤平団地の造成・入居開始を契機に爆発的な人口増加の兆しが現れ、都心への通勤時間が30～40分程度という地理的条件も相まって、以降毎年1万3千人以上の増加を記録した。しかし、昭和59年頃より社会増から自然増へ傾向が変化しつつある。昭和30年代後半からの人口増加が示すように、東京都内からの流入人口を受入れざるを得ない情勢が続き、首都圏の典型的な住宅都市として発展してきた。このような背景の下に、公共施設の整備・増設が急務とされ「快適ですみ良い暮らしのために」を施策の体系に掲げ、中でも市民生活に直接係わりのあるごみ処理施設の整備を中心とした生活環境整備と清掃事業が推進されてきた。

(4) 人口の推移

本市が市制を施行した昭和18年の人口は約4万人であったが、昭和35年以降爆発的な増加を記録し、昭和54年までは毎年1万人以上の増加がみられ、中でも昭和44・46年の両年は2万人台の増加となった。しかし昭和55年以降は人口増が鈍化し、年間1万人を割っている。近年は年間2千人程度の増加となり、社会増より自然増の比率が高くなり市域の大規模開発も無く人口流入も抑制されつつある。

人口及び世帯数の推移（各年10月1日現在）

※ 昭和25年世帯数は推測値

年度	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
18	7,198	40,433	20,855	19,548	市制施行
22	10,169	54,513	27,114	27,399	臨時国勢調査
25	10,562	52,531	25,813	26,718	第7回国勢調査
30	13,875	68,363	34,024	34,339	第8回国勢調査
35	19,656	86,372	43,420	42,952	第9回国勢調査
40	41,913	160,001	82,001	78,000	第10回国勢調査
45	70,829	253,591	130,021	123,570	第11回国勢調査
50	102,830	344,558	175,911	168,647	第12回国勢調査
55	128,974	400,863	202,799	198,064	第13回国勢調査
60	139,855	427,473	215,909	211,564	第14回国勢調査
2	160,724	456,210	232,043	224,167	第15回国勢調査
7	172,119	461,503	234,154	227,349	第16回国勢調査
8	173,321	460,873	233,989	226,884	
9	175,331	461,126	234,083	227,043	
10	177,719	462,297	234,113	228,184	
11	180,765	464,609	235,079	229,530	
12	182,703	464,841	234,552	230,289	第17回国勢調査
13	185,717	467,197	235,495	231,702	
14	189,159	470,759	236,962	233,797	
15	191,865	472,728	237,433	235,295	
16	194,245	474,078	238,065	236,013	
17	192,962	472,579	237,562	235,017	第18回国勢調査
18	196,182	474,934	238,685	236,249	
19	199,670	476,792	239,654	237,138	
20	206,420	480,785	241,786	238,999	
21	210,152	484,194	243,634	240,560	
22	212,111	485,640	243,893	241,747	

2. 松戸市史及び清掃事業の変遷

年 代	市 の 歴 史	ご み 処 理	し 尿 処 理
明治 2年	五香六実入植開始		
5年	松戸・小金郵便取扱所開設		
11年	東葛飾郡役所・松戸警察所設置		
22年	松戸町誕生（松戸村矢切村合併 人口約4,000人）		
29年	日本鉄道(株)海岸線（常磐線）田端―土浦開通 松戸駅開設		
31年	常磐線全線開通 馬橋駅開設		
42年	県立園芸専門学校設立（千葉大学園芸学部）		
44年	北小金駅開設		
大正 5年	流山鉄道開通		
8年	松戸実科高等女学校（県立松戸高校）設立		
9年	国道6号道路認定		
12年	東武鉄道 船橋―野田開通 六実駅開設		
昭和 2年	葛飾橋（鉄橋）架設		
8年	明村と合併（15,669人）		
10年	都営八柱霊園開設		
11年	常磐線上野―松戸駅間電化		
13年	八柱村と合併（21,506人）		
14年	千葉県松戸保健所設立		
17年	国立療養所松戸病院設置		
18年	松戸町、高木村、馬橋村合併、市制施行（40,433人）		
24年	千葉農業専門学校が千葉大学園芸学部となる		
25年	馬橋万満寺の木造金剛力士像が国重要文化財に指定 松戸市報（広報）発刊 市立病院開院	松戸市汚物掃除規定を制定	
27年	松戸駅東口を開設 北松戸駅、競輪開催日駐車場の仮駅として開設		
29年	小金町と合併（66,051人）	清 掃 法 制 定 施 行	
30年	新京成電鉄松戸―津田沼間開通 松戸市都市計画決定	松戸市清掃条例及び同施行規則制定施行 松戸市汚物掃除規定廃止 特別清掃地域指定 （26地区） ごみ収集有料化 （石油箱1杯 5円）	し尿収集開始 （し尿汲取手数料 1樽 15円）

年 代	市 の 歴 史	ご み 処 理	し 尿 処 理
昭和31年	沼南村高柳地区編入 (70,503人)	回数券をたばこ屋等で販売した	
32年	電話自動化使用開始 日本住宅公団常盤平団地造成開始		し尿汲取三輪車を購入 一部直営による収集開始 (し尿汲取三輪車1台購入)
33年	北松戸駅常設駅に格上		
34年	市庁舎現在位置へ移転し、 旧庁舎を公民館として使用		
35年	稔台・北松戸に工業団地造成 日本住宅公団常盤平団地入居開始		金ヶ作下水処理場操業
36年	串崎新田に市営火葬場完成 国道6号松戸バイパス完成	ごみ収集手数料の廃止 清掃工場(六和)建設用地買収	農協に収集一部委託
37年	市営小金水道給水開始 松飛台工業団地造成 安全都市宣言	清掃工場(六和)完成 (固定炉)	
38年	松戸市5ヶ年計画作成 市制施行20周年	塵芥収集容器設置補助金 交付規則制定	一般収集は委託
39年	市民会館完成		農協に代え丸協清掃事業 共同組合に委託
40年	県立小金高校が開校		金ヶ作下水処理場に、し尿 投入施設完成
41年	市の人口17万人を超える 千葉県柏保健所が新設され、 千葉県松戸保健所の管轄は 松戸市1市となる	市内全域が特別清掃地域に 指定される 委託収集開始 清掃工場(六和)増設 (機械炉)	
42年	国保市立病院上本郷へ移転 (総合病院となる)		松戸市清掃条例の全面改正
43年	総合卸売市場開設 市の人口20万人を超える		金ヶ作下水処理場に常盤平 し尿処理施設を併設し常盤 平衛生処理場として操業開 始
44年	すぐやる課設置 市営青果市場八ヶ崎に開設	紙袋によるごみ収集開始 (粗大・不燃・台所ごみに 分別)	市有施設の委託収集 (全面委託実施)
45年	市役所新館完成	清 掃 法 全 部 廃 止 廃棄物の処理及び清掃に関する法律制定 全面委託実施 ごみ収集週3回に (不燃物収集開始)	

年 代	市 の 歴 史	ご み 処 理	し 尿 処 理
昭和46年	日本住宅公団小金原団地完成 常磐線複々線化完成 (千代田線相互乗入) ボックスヒル市と姉妹都市 提携	清掃工場に塵芥粉碎機設置	
47年	常盤平市民センター完成 未熟児センター設置	松戸市清掃条例及び施行規則全部改正 松戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び同施行 規則制定施行	
48年	武蔵野線開通 新松戸駅開設 国民体育大会開催 (自転車・テニス)	清掃工場(六和)に流動焼 却炉を設置	し尿海洋投入開始
49年	第1次総合5ヶ年計画 図書館本館が移転 名誉市民制定	段ボールの資源化開始	第1中継所設置
50年	日本住宅公団牧の原団地・ 梨香台団地完成 市立松戸高校開校	不燃物収集業務を増強 (4社委託とする)	
51年	総合福祉会館完成 青少年会館開館 松戸運動公園完成	清掃工場(六和)に連続燃 焼式機械炉完成 五香地区婦人会リサイクル 活動開始	
52年	松戸市長期構想策定		第1中継所廃止 中継所設置(第2・第3・ 第4) 宮前公衆便所完成
53年	武蔵野線(新松戸以東開通) 新八柱駅開設	4分別収集開始 ・燃やせるごみ ・燃やせないごみ ・資源ごみ ・粗大ごみ	
54年	第2次総合5ヶ年計画スタート	六和旧炉に電気集塵機設置 資源ごみ協同組合に委託 選別センター設置	
55年	上葛飾橋(松戸三郷有料橋) 開通 婦人会館・勤労会館完成 市の人口40万人を超える	第2清掃工場竣工 (クリーンセンターに改称) 公衆屑籠委託収集開始	

年 代	市 の 歴 史	ご み 処 理	し 尿 処 理
昭和56年	市民劇場完成	資源リサイクルセンター竣工	東部クリーンセンター竣工
	生きがい福祉事業団発足	粗大ごみ委託収集開始	第4中継所廃止
	(財)おはなしキャラバン 設立		常盤平衛生処理場し尿処理 施設廃止
57年	千葉北導水路(坂川放水路 等松戸排水機場完成)	六和クリーンセンターに圧縮 梱包機設置	北松戸公衆便所完成
58年	市制施行40周年		
	小児医療センター開設		
59年	第3次総合5ヶ年計画	5分別収集開始 ・燃やせるごみ ・燃やせないごみ ・資源ごみ ・粗大ごみ ・有害ごみ	
60年	世界平和都市宣言 松戸東警察署設置 松戸駅西口地下駐車場完成		
61年	松戸駅西口高架遊歩道完成		
62年	日本の道百選に常盤平さく ら通が指定される		馬橋公衆便所完成
63年	県立西部図書館完成 矢切の渡しブーム	日暮クリーンセンター竣工	
平成 元年	第4次総合5ヶ年計画 市民ギャラリー・消防訓練 センター開設		新松戸公衆便所完成
2年	中学校給食開始	ごみを減らす課設置(ごみ減 量キャンペーンを展開)	
3年	北総開発鉄道全線開通 戸定歴史館完成	従来のリサイクル町会制度 を廃止し、新たに集団回収 方式を導入 (補助制度を発足)	生活排水処理基本計画策定
		和名ヶ谷クリーンセンター の建設に着手 ・議会承認 (H3.11)	
		紙パック拠点回収開始 (H3.10)	
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律改正施行	
4年	市役所完全土曜閉庁	日暮クリーンセンター内に 燃料化システム導入	
		ごみ処理基本計画策定 (H5.3)	

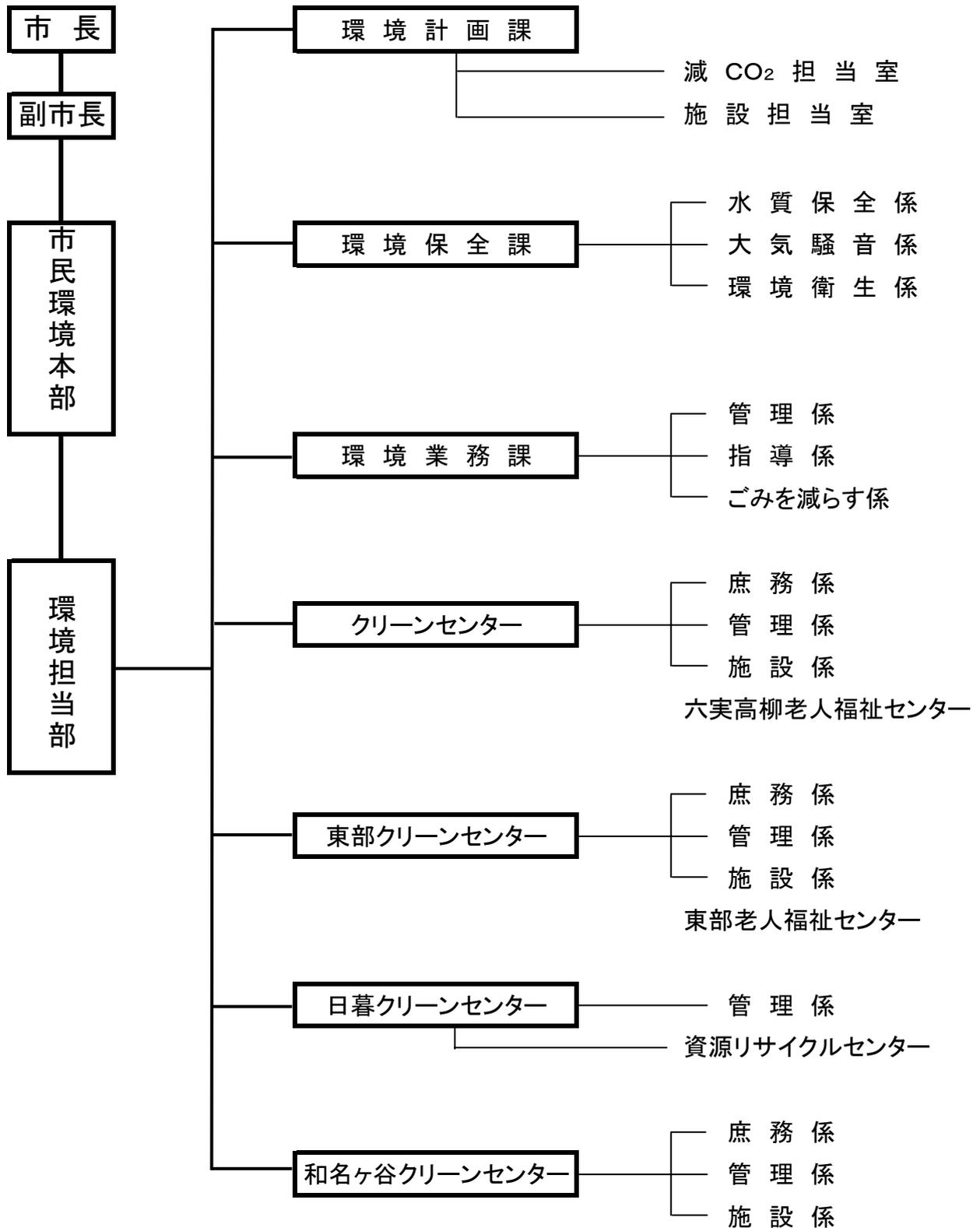
年 代	市 の 歴 史	ご み 処 理	し 尿 処 理
平成 5年	市制施行50周年 松戸市民憲章制定 21世紀の森と広場・博物館・森のホール21完成 福祉医療センター東松戸病院開設 中央保健センターオープン	松戸市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例全部改正 松戸市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則全部改正	
6年	第5次総合5ヶ年計画 国分川分水路完成 松戸市行政リストラ市民会議が発足 「常盤平けやき通り」が新・日本街路樹百景に	新条例施行	第2中継所廃止
7年	公文書公開制度スタート	和名ヶ谷クリーンセンター竣工（平成7年10月5日）	
8年	八ヶ崎消防署開署 ホワイトホース市（旧ホックスヒル市）と姉妹都市提携再調印 松戸市行政リストラ実施計画に基づき機構改革を実施	和名ヶ谷スポーツセンター竣工（平成8年3月28日） 松戸市事業系廃棄物対策総合計画策定	
9年	大谷口歴史公園開園 武蔵野線「東松戸駅」が開設	粗大ごみ有料化実施（平成9年4月1日）	
10年	松戸市総合計画スタート（平成10年4月1日） 人権尊重都市宣言（平成10年12月10日） 健康福祉会館完成 千葉県西部防災センター完成	六和クリーンセンター休炉（平成10年1月） ごみ処理基本計画策定（平成10年3月）	第3中継所廃止 し尿海洋投入廃止
11年	「松戸市役所エコオフィス行動プラン」策定		
12年	行政組織改革が行われ、本部制を導入 介護保険制度スタート 松戸警察署移転	廃カセット缶・エアゾール缶処理装置設置（平成12年4月1日） 木製粗大ゴミ再生事業としてミニリサイクルプラザを開設（平成12年5月15日） 事業系ごみ全面有料化（平成12年10月1日） 燃料化システム廃止（平成13年3月）	汚泥焼却設備休止 汚泥等市内焼却施設で焼却（平成12年4月1日）

年 代	市 の 歴 史	ご み 処 理	し 尿 処 理
平成13年		<p>8分別収集開始 (平成13年4月1日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やせるごみ ・陶磁器ガラスなどのごみ ・リサイクルする プラスチック ・その他のプラスチック などのごみ ・ペットボトル ・資源ごみ ・粗大ごみ ・有害ごみ <p>家電4品目を家電リサイクル法に基づきリサイクル (平成13年4月1日)</p> <p>資源ごみのうち紙類を問屋に直納 (平成13年4月1日)</p> <p>ペットボトル処理施設設置 (平成13年4月1日)</p> <p>ペットボトル(拠点回収分)の全量を容器リサイクル法に基づきリサイクル (平成13年4月1日)</p> <p>焼却灰の一部を資源化(エコセメント) (平成13年4月)</p> <p>大型生ごみ処理機設置モデル事業開始(平成13年9月)</p>	<p>浄化槽汚泥処分手数料有料化(平成13年5月1日)</p>
14年		<p>祝日収集開始 (平成14年4月1日)</p> <p>資源ごみ一部を民間処理委託開始</p> <p>六和クリーンセンター廃止 (平成14年11月)</p> <p>ごみ処理基本計画策定 (平成15年3月)</p>	
15年	<p>市制施行60周年 総合計画第2次実施計画がスタート 松戸駅に行政サービスセンター設置</p>		
16年	<p>「松戸市安全で快適なまちづくり条例」の施行</p>	<p>ペットボトル(拠点・集団回収)の全量を容器リサイクル法に基づきリサイクル (平成16年4月)</p> <p>「循環型社会構築検討委員会」より提言を受ける (平成17年3月)</p>	

年 代	市 の 歴 史	ご み 処 理	し 尿 処 理
平成17年	<p>インターハイ～千葉きらめき総体～開催（自転車競技・フェンシング） （平成17年8月）</p> <p>戸定邸から眺める富士山が「関東の富士見百景」に</p> <p>「もったいない運動」を推進</p>	<p>廃棄物減量及び適正処理条例を一部改正、家庭ごみ集積所からのごみ（資源ごみ等）持去り行為を禁止、違反者には5万円以下の過料を科す （平成17年4月1日。但し過料は7月1日から）</p> <p>家庭系パソコン回収システムによりリサイクル （平成17年4月1日）</p> <p>アスベストを含む家庭用品の回収（平成17年11月16日）</p>	
18年	<p>根木内歴史公園オープン</p> <p>戸定邸が国の重要文化財に指定される</p>	<p>ペットボトル一部売却 （平成18年4月）</p>	
19年	<p>東松戸ゆいの花公園開園</p> <p>松戸市警防ネットワークがスタート</p> <p>市役所正面玄関前に「キッチン・ガーデン」が開園</p> <p>協働推進課の設置</p> <p>戸定が丘歴史公園が「日本歴史公園100選」に選定</p>		
20年	<p>矢切斜面林の一部を特別緑地保全地区に指定</p> <p>千葉大学に園芸学部移転反対の署名簿提出</p> <p>市政施行65周年を記念し切手シートを発売</p>	<p>ごみ処理基本計画策定 （平成20年3月）</p>	
21年			<p>東部クリーンセンター 処理能力変更（平成21年4月） 300kℓ/日→200kℓ/日</p>
22年		<p>その他プラスチックを一部資源化处理（平成22年4月）</p> <p>資源ごみのうち布類を問屋に直納（平成22年4月1日）</p> <p>ペットボトルの全量（拠点・集団回収）を民間処理委託（平成22年4月1日）</p>	

II 機 構

1. 組 織 (平成 23年 4月 1日現在)



2. 環境担当部職員配置状況(平成23年4月1日,事務分担発令後)

・環境担当部長 1

・環境担当部 技監 3 (兼所長 2 兼課長 1)

【総数183名】

課名	課長	専門監	補佐	主幹	係名	係長相当職	主任主事	主任技師	主事・技師	主事補	技師補等	再任用職員	小計	合計
環境計画課	1	2	5			2			1				3	21
	減CO ₂ 担当室								3	1	1		5	
	室長	兼1	兼2										4	
	施設担当室								2			2	4	
	室長	兼1	兼1	1	六和クリーンセンター	兼1							兼1	
環境保全課	1		3	1	水質保全係	兼1	1		2				3	29
					大気騒音係	兼1			3		1	4		
					環境衛生係		3	1	兼1	9		4	17	
環境業務課	1	1	4	4	管理係	兼1			1				1	36
					指導係		2		13	1	5	21		
					ごみを減らす係	兼1	1		1		2	4		
クリーンセンター (直営・委託)	1		2	1	庶務係	兼1			3	1			4	35
					管理係		2		18		2	22		
					施設係		1		兼1	1		2		
					六実高柳老人福祉センター				兼1			1	2	
東部 クリーンセンター (委託)	1	1		2	庶務係	兼1	1		1				2	16
					管理係		1		1			2		
					施設係		1	1			6	8		
					東部老人福祉センター				兼1				兼1	
日暮 クリーンセンター (委託)	1		3	1	管理係	兼1			4			2	6	18
					資源リサイクルセンター	所長	1	1			1		3	
和名ヶ谷 クリーンセンター (委託)	1		2	兼1	庶務係		2		2			4	8	27
					管理係		2		10		1	13		
					施設係		2	1				3		
合計	7	5	20	11		20	7	75	2	2	33	139	182	

3. 部課の経緯

期 間	部 名	課 名	備 考
昭和38年4月 から 昭和40年3月	経済民生部	清掃事務所 環境衛生課	
昭和40年4月 から 昭和41年3月	民生部	清掃事務所 環境衛生課	
昭和41年4月 から 昭和43年3月	民生部	清掃事務所	
昭和43年4月 から 昭和44年3月	環境衛生部	環境衛生課 清掃管理課 清掃事務所	
昭和44年4月 から 昭和47年3月	衛生部	清掃第1課 清掃第2課	
昭和47年4月 から 昭和48年9月	環境部	庶務課 環境指導課 環境施設課 公害対策課	機構改革により公害対策課が市民部から環境部へ 昭和48年公害対策課が公害課と名称変更
昭和48年10月 から 昭和52年3月	環境部	庶務課 環境指導課 環境施設課 清掃工場 衛生処理場 公害課 公害研究所	清掃工場・衛生処理場が環境施設課から独立 公害研究所を新設
昭和52年4月 から 昭和52年9月	環境部	管理課 環境第1課 環境第2課 環境施設課 清掃工場 衛生処理場 公害課 公害研究所	環境指導課のごみ収集関係をもって環境第1課 " し尿収集関係と管理課の一部をもって環境第2課となる
昭和52年10月 から 昭和55年7月	環境部	管理課 環境第1課 環境第2課 環境施設第1課 環境施設第2課 清掃工場 衛生処理場 公害課 公害研究所	環境施設課を第二清掃工場建設関係の施設第1課と衛生処理場建設関係の同2課に分離
昭和55年7月 から 昭和56年9月	環境部	管理課 環境第1課 環境第2課 環境施設第1課 環境施設第2課 六和クリーンセンター クリーンセンター 東部クリーンセンター	清掃工場が六和クリーンセンターに名称変更 クリーンセンター・東部クリーンセンターを新設

期 間	部 名	課 名	備 考
		衛生処理場 公害課 公害研究所	
昭和56年10月 から 昭和58年9月	環境部	管理課 環境第1課 環境第2課 施設課 六和クリーンセンター クリーンセンター 東部クリーンセンター 公害課 公害研究所	環境施設関係2課を施設課として統合 衛生処理場が下水道部となる
昭和58年10月 から 昭和63年3月	清掃部	管理課 清掃第1課 清掃第2課 施設課 六和クリーンセンター クリーンセンター 東部クリーンセンター	環境部が清掃部と環境保全部に分離 公害課 公害研究所 生活環境課（管理課・旧環境2課の業務の一部）
昭和63年4月 から 平成2年3月	清掃部	管理課 清掃第1課 清掃第2課 施設課 六和クリーンセンター クリーンセンター 東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター	清掃第1課から資源リサイクルセンターを、施設課から最終処分場を、六和クリーンセンターから圧縮部門をそれぞれ分離し、日暮クリーンセンターを設置
平成2年4月 から 平成6年3月	清掃部	管理課 ごみを減らす課 清掃第1課 清掃第2課 施設課 六和クリーンセンター クリーンセンター 東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター	ごみ減量の啓発普及のためごみを減らす課を設置
平成6年4月 から 平成7年9月	清掃部	管理課 ごみを減らす課 清掃業務課 施設課 六和クリーンセンター クリーンセンター 東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター開設準備室	清掃第1課と清掃第2課を統合し清掃業務課とする 和名ヶ谷クリーンセンター開設準備室を施設課から独立させ設置
平成7年10月	清掃部	和名ヶ谷クリーンセンター	和名ヶ谷クリーンセンター開設準備室を廃止 和名ヶ谷クリーンセンターを設置
平成8年4月 から 平成11年3月	清掃部	清掃管理課 清掃施設課 清掃業務課 六和クリーンセンター クリーンセンター	管理課とごみを減らす課を統合し清掃管理課を設置 施設課が清掃施設課に名称変更

期 間	部 名	課 名	備 考
		東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター	和名ヶ谷クリーンセンターに施設係を設置
平成11年4月 から 平成12年3月	環境部	計画課 保全課 業務課 施設課 クリーンセンター 東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター	清掃部と環境保全部を統合し環境部を設置 清掃管理課と環境管理課を統合し計画課、環境管理課と環境保全課を統合し保全課、清掃施設課と六和クリーンセンターを統合し施設課を設置 清掃業務課が業務課に名称変更
平成12年4月 から 平成15年3月	環境担当部	環境計画課 環境保全課 環境業務課 環境施設課 クリーンセンター 東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター	機構改革により本部制をとり環境担当部を設置 計画課、保全課、業務課、施設課をそれぞれ環境計画課、環境保全課、環境業務課、環境施設課に名称変更
平成15年4月 から	環境担当部	環境計画課 環境保全課 環境業務課 クリーンセンター 東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター	ごみを減らす係が環境計画課から環境業務課へ移管 環境施設課が廃止 環境計画課内に施設担当室を新設
平成20年4月 から	環境担当部	環境計画課 環境保全課 環境業務課 クリーンセンター 東部クリーンセンター 日暮クリーンセンター 和名ヶ谷クリーンセンター	環境計画課内に減CO ₂ 担当室を新設

4. 各課・センターの業務

(平成23年度)

課 名	係 名	事務事業内容
環境計画課		<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理の基本計画の作成並びに廃棄物処理事業の推進、進捗管理及び総合調整に関すること。 ・廃棄物処理に関する地元対策並びに連絡協議会の運営及び調整に関すること。 ・一般廃棄物処理業者の許可及び指導監督に関すること。 ・産業廃棄物に関する関係機関との調整に関すること。 ・家庭系燃やせるごみの認定袋制度に関すること。 ・担当部内の連絡調整及び庶務に関すること。 ・江戸川クリーン大作戦に関すること。 ・課の庶務に関すること。
	減CO ₂ 担当室	<ul style="list-style-type: none"> ・環境計画及び地球温暖化対策地域推進計画の企画並びに環境事業の推進、進捗管理及び総合調整に関すること。 ・環境審議会に関すること。 ・公害防止計画に関すること。 ・公用車両(電気自動車)の運用及び管理に関すること。

	施設担当室	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃事業に係る国・県の補助金に関すること。 ・廃棄物処理施設の整備計画に関すること。 ・廃棄物処理施設の建設に関すること。 ・廃棄物処理施設用地の確保及び登記に関すること。 ・最終処分場（日暮最終処分場を除く。）の維持管理に関すること。 ・一般廃棄物の最終処分に関すること。 ・クリーンセンター、東部クリーンセンター、日暮クリーンセンター及び和名ヶ谷クリーンセンターとの連絡に関すること。 ・六和クリーンセンターに関すること。
環境保全課	水質保全係	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁、地盤沈下及び土壌汚染の調査及び監視に関すること。 ・水質汚濁、地盤沈下及び土壌汚染の規制及び指導に関すること。 ・水質汚濁及び地盤沈下に係る特定施設等の届出に関すること。 ・土壌汚染に係る調査結果等の届出に関すること。 ・汚染土壌処理業の許可に関すること。 ・汚染土壌処理業の許可等に係る手数料の徴収金に関すること。 ・合併処理浄化槽の促進に関すること。 ・水質保全に係る公害相談に関すること。 ・公害防止管理者に関すること。 ・課の庶務に関すること。
	大気騒音係	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染、悪臭、騒音及び振動の調査及び監視に関すること。 ・大気汚染、悪臭、騒音及び振動の規制及び指導に関すること。 ・大気汚染、悪臭、騒音及び振動に係る特定施設等の届出に関すること。 ・大気保全、騒音及び振動に係る公害相談に関すること。
	環境衛生係	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する市民、地区環境組織等の育成に関すること。 ・あき地の雑草等の除去指導に関すること。 ・動物の飼養管理の指導に関すること。 ・犬の登録及び狂犬病予防に関すること。 ・犬の登録、狂犬病予防注射済票交付手数料等の徴収金に関すること。 ・ねずみ、衛生害虫等の駆除に関すること。
環境業務課	管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿の収集運搬業務に関すること。 ・し尿の収集委託業者の指導監督に関すること。 ・し尿処理の申請及び届出に関すること。 ・し尿処理手数料の賦課徴収に関すること。 ・公衆便所の設置及び維持管理に関すること。 ・浄化槽清掃業者の許可及び指導に関すること。 ・課の庶務に関すること。
	指導係	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの収集運搬業務に関すること。 ・ごみ処理に係る市民指導に関すること。 ・ごみの収集委託業者の指導監督に関すること。 ・ごみ（事業系一般廃棄物を含む。）の不法投棄に関すること。 ・粗大ごみ及び動物死体処理手数料の徴収に関すること。
	ごみを減らす係	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ（事業系一般廃棄物を含む。）の減量及び資源化の促進及び啓発に関すること。 ・リサイクル活動奨励金等に関すること。 ・事業系一般廃棄物の適正処理に関すること。 ・廃棄物減量等推進員に関すること。

クリーンセンター	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの財産管理に関すること。 ・廃棄物の処理手数料に関すること。 ・各種記録の作成及び報告に関すること。 ・センターの庶務に関すること。
	管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設の運転・維持管理及び保守点検に関すること。 ・ごみ処理施設の整備改良の設計及び施工に関すること。 ・ごみ処理施設の検査に関すること。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内体育施設等の管理運営に関すること。 ・六実高柳老人福祉センターに関すること。
東部 クリーンセンター	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの財産管理に関すること。 ・各種記録の作成及び報告に関すること。 ・廃棄物の処理手数料に関すること。 ・センターの庶務に関すること。
	管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿処理施設の維持管理及び保守点検に関すること。 ・し尿処理施設の水質及び汚泥の検査に関すること。 ・し尿処理施設の整備改良工事の設計及び施工に関すること。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> ・東部スポーツパークの管理運営に関すること。 ・東部老人福祉センターに関すること。
日暮 クリーンセンター	管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・日暮クリーンセンター（以下この目において「センタ-」という。）の財産管理に関すること。 ・廃棄物の処理手数料に関すること。 ・資源ごみの売払いに関すること。 ・各種記録の作成及び報告に関すること。 ・センター内の機器の保守点検・補修に関すること。 ・日暮最終処分場に関すること。 ・センターの庶務に関すること。
	資源リサイクルセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルセンターの財産管理に関すること。 ・廃棄物の処理手数料に関すること。 ・リサイクルセンター内の機器の保守点検・補修に関すること。
和名ヶ谷 クリーンセンター	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの財産管理に関すること。 ・廃棄物の処理手数料に関すること。 ・各種記録の作成及び報告に関すること。 ・センターの庶務に関すること。
	管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設の維持管理及び保守点検に関すること。 ・ごみ処理施設の整備改良工事の設計及び施工に関すること。 ・ごみ処理施設の検査に関すること。 ・発電設備に関すること。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> ・和名ヶ谷スポーツセンターの管理運営に関すること。

Ⅲ 予 算

1. 平成23年度一般会計当初予算

(歳入)

(単位:千円)

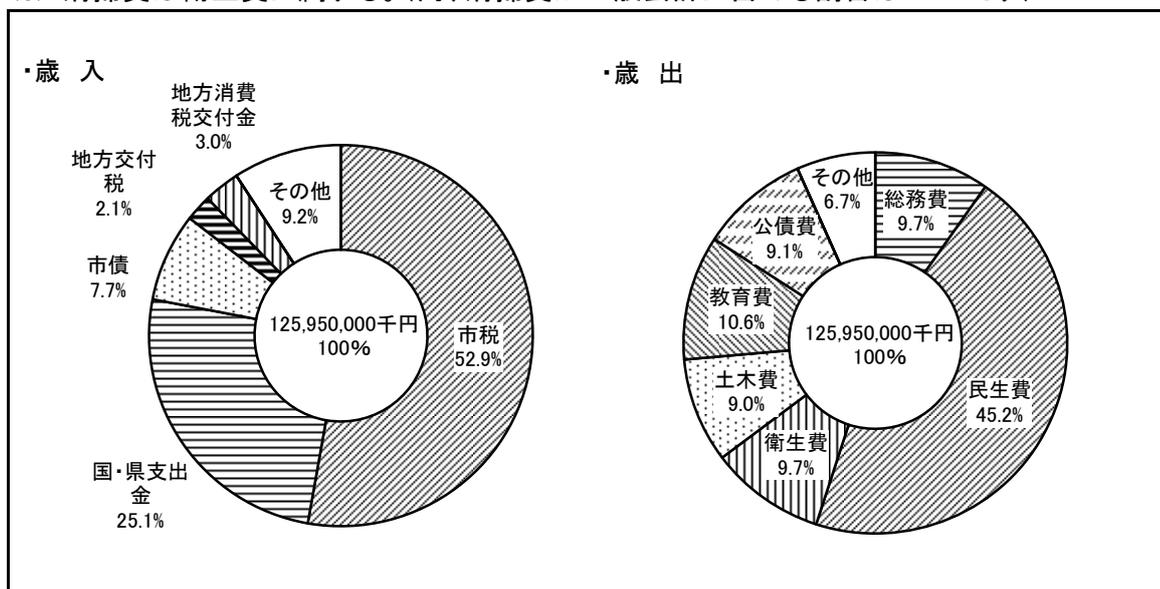
款	予 算 額	款	予 算 額
市 税	66,630,000	分 担 金 及 び 負 担 金	1,526,148
地 方 譲 与 税	928,000	使 用 料 及 び 手 数 料	2,895,834
利 子 割 交 付 金	200,000	国 庫 支 出 金	24,669,899
配 当 割 交 付 金	50,000	県 支 出 金	6,903,279
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	50,000	財 産 収 入	80,877
地 方 消 費 税 交 付 金	3,800,000	寄 附 金	1
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	13,000	繰 入 金	2,887,750
自 動 車 取 得 税 交 付 金	380,000	繰 越 金	500,000
地 方 特 例 交 付 金	710,000	諸 収 入	1,327,012
地 方 交 付 税	2,610,000	市 債	9,723,200
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	65,000		
歳 入 合 計		125,950,000	

(歳出)

(単位:千円)

款	予 算 額	款	予 算 額
議 会 費	974,860	土 木 費	11,299,011
総 務 費	12,259,431	消 防 費	6,132,694
民 生 費	56,964,900	教 育 費	13,368,550
衛 生 費	12,154,526	災 害 復 旧 費	1
労 働 費	84,332	公 債 費	11,480,608
農 林 水 産 業 費	349,866	諸 支 出 金	2
商 工 費	581,219	予 備 費	300,000
歳 出 合 計		125,950,000	

※ 清掃費は衛生費に属する。(尚、清掃費が一般会計に占める割合は4.7%です)



2. 一般会計当初予算額 (清掃費の内訳)

(単位:千円/%)

項 目		平成 22 年度	平成 23 年度	前 年 度 比
清掃 総務 費	人件費	1,042,085	999,241	△4.1
	環境活動団体支援事業	23	23	0.0
	広域情報収集事業	489	489	0.0
	環境情報提供事業	100	2,760	2,660.0
	清掃総務事務費	124	145	16.9
	小 計	1,042,821	1,002,658	△3.9
塵 芥 処 理 費	ごみ収集事業	1,579,800	1,579,611	△0.0
	ごみ処理事業	1,920,618	1,897,202	△1.2
	容器包装リサイクルごみ処理事業	297,498	300,319	0.9
	資源ごみリサイクル事業	463,951	453,295	△2.3
	ごみ減量促進事業	8,887	8,753	△1.5
	不法投棄防止事業	15,781	13,931	△11.7
	ごみ分別排出指導事業	8,052	9,634	19.6
	民間回収資源化システム支援事業	264,091	235,454	△10.8
	清掃施設関係事業	26,015	26,139	0.5
	木製粗大ごみ再生事業	4,207	0	皆減
	廃棄物適正処理推進事業	300	300	0.0
小 計	4,589,200	4,524,638	△1.4	
し 尿 処 理 費	し尿収集事業	90,384	87,076	△3.7
	し尿処理事業	342,805	336,305	△1.9
	小 計	433,189	423,381	△2.3
合 計		6,065,210	5,950,677	△1.9

3. 平成22年度歳入決算額

(単位:円/%)

節	課名	平成21年度	平成22年度	前年度比
総務使用料	施設担当室	5,955,554	0	皆減
	クリーンセンター	482,992	448,698	△7.10
	東部クリーンセンター	73,067	75,682	3.58
	日暮クリーンセンター	92,085	110,102	19.57
	和名ヶ谷クリーンC	696,376	426,455	△38.76
	計	7,300,074	1,060,937	△85.47
保健体育使用料	クリーンセンター	8,035,469	8,432,734	4.94
	東部クリーンセンター	5,977,734	6,350,392	6.23
	和名ヶ谷クリーンC	70,932,130	66,269,932	△6.57
	計	84,945,333	81,053,058	△4.58
清掃手数料	環境計画課	416,000	82,300	△80.22
	環境業務課	92,894,953	97,483,367	4.94
	クリーンセンター	8,332,968	9,402,792	12.84
	東部クリーンセンター	8,443,732	8,517,463	0.87
	日暮クリーンセンター	18,914,952	17,670,072	△6.58
	和名ヶ谷クリーンC	627,087,426	609,980,574	△2.73
	計	756,090,031	743,136,568	△1.71
清掃費寄附金	環境業務課	0	25,010	皆増
	計	0	25,010	皆増
リサイクル品売払収入	環境業務課	943,800	687,100	△27.20
	計	943,800	687,100	△27.20
弁償金	環境業務課	34,359,667	0	皆減
	計	34,359,667	0	皆減
資源ごみ売払収入	日暮クリーンセンター	132,086,090	251,119,586	90.12
	計	132,086,090	251,119,586	90.12
違約金及び延納利息	クリーンセンター	0	183,750	皆増
	計	0	183,750	皆増
清掃費補助金	和名ヶ谷クリーンC	0	1,015,000	皆増
	計	0	1,015,000	皆増
雑入	施設担当室	158,340	0	皆減
	環境業務課	745,769	1,528,943	105.02
	クリーンセンター	113,689	9,710	△91.46
	東部クリーンセンター	6,300	6,300	0.00
	日暮クリーンセンター	4,800	4,800	0.00
	和名ヶ谷クリーンC	25,792,639	26,282,796	1.90
	計	26,821,537	27,832,549	3.77
国庫支出金	クリーンセンター	0	18,795,000	皆増
	東部クリーンセンター	0	28,082,250	皆増
	和名ヶ谷クリーンC	0	8,914,500	皆増
	計	0	55,791,750	皆増
合計		1,042,546,532	1,161,905,308	11.45

4. 平成22年度歳出決算額(環境担当部・清掃部門執行分及び人件費)

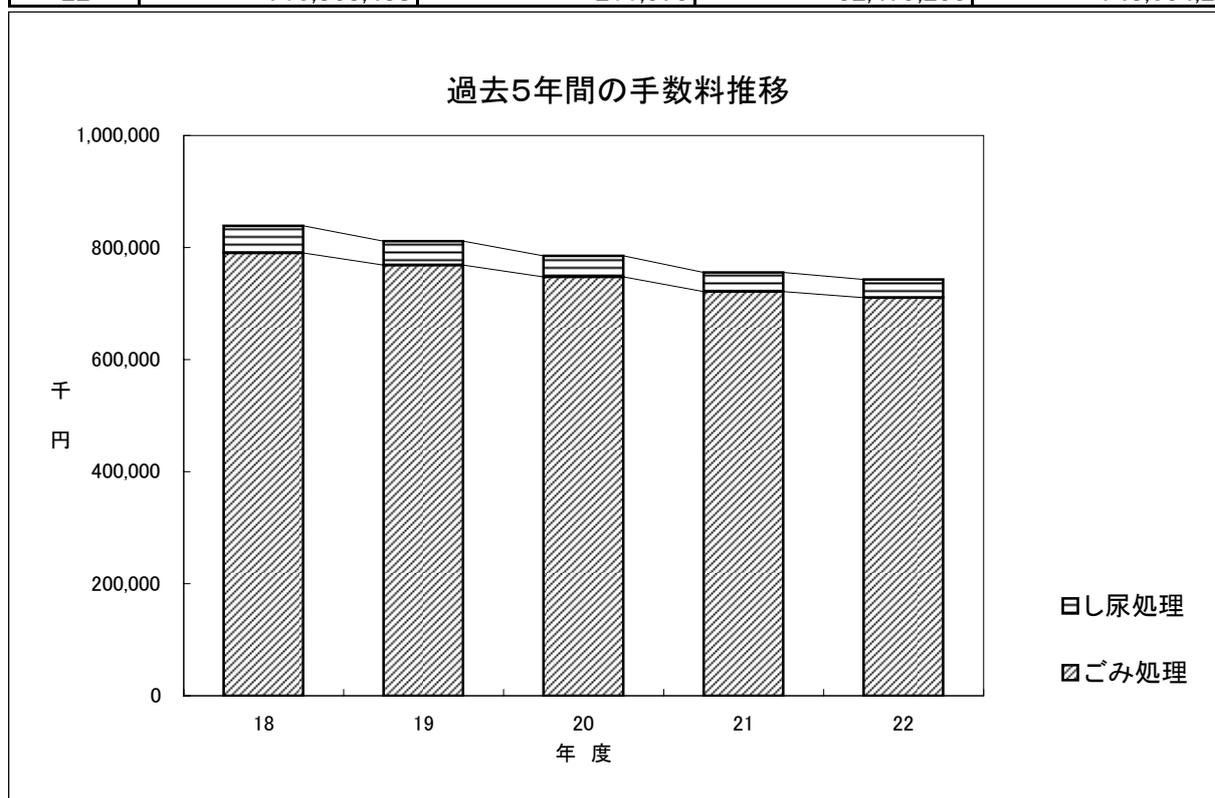
(単位:円/%)

款	項	目	課名	平成21年度	平成22年度	前年度比	
衛生費	清掃費	清掃総務費	環境計画課	655,599	678,501	3.49	
			(人件費)	1,032,844,981	996,182,025	△3.55	
			計	1,033,500,580	996,860,526	△3.55	
		塵芥処理費	環境計画課	1,461,408	1,150,687	△21.26	
			施設担当室	345,146,915	181,797,515	△47.33	
			環境業務課	1,847,342,810	1,816,955,715	△1.64	
			クリーンセンター	1,464,674,034	656,491,325	△55.18	
			日暮クリーンセンター	817,524,041	772,214,432	△5.54	
			和名ヶ谷クリーンC	1,075,955,871	1,073,582,174	△0.22	
			計	5,552,105,079	4,502,191,848	△18.91	
	し尿処理費	環境業務課	114,118,270	87,586,802	△23.25		
		東部クリーンセンター	417,551,008	330,245,821	△20.91		
		計	531,669,278	417,832,623	△21.41		
	清掃費計				7,117,274,937	5,916,884,997	△16.87
	保健衛生費	健康管理費	環境計画課	825,334	853,201	3.38	
			クリーンセンター	2,602,340	1,886,000	△27.53	
			計	3,427,674	2,739,201	△20.09	
保健衛生費計				3,427,674	2,739,201	△20.09	
衛生費合計				7,120,702,611	5,919,624,198	△16.87	
民生費	社会福祉費	老人福祉施設費	クリーンセンター	6,288,466	26,583,645	322.74	
			東部クリーンセンター	5,739,896	12,631,815	120.07	
			計	12,028,362	39,215,460	226.02	
民生費合計				12,028,362	39,215,460	226.02	
土木費	道	道路新設改良費	施設担当室	0	0	0.00	
	土木費合計				0	0	0.00
教育費	保健体育費	体育施設費	クリーンセンター	58,553,028	53,577,114	△8.50	
			東部クリーンセンター	36,679,656	58,664,422	59.94	
			和名ヶ谷クリーンC	232,662,331	261,820,853	12.53	
			計	327,895,015	374,062,389	14.08	
教育費合計				327,895,015	374,062,389	14.08	
合計				7,460,625,988	6,332,902,047	△15.12	

5. 手数料収入実績及び経年推移

(単位:円)

年 度	ごみ処理手数料	動物死体処理	し尿処理手数料	合 計
56	89,687,768	146,400	168,345,743	258,179,911
57	110,506,420	244,800	223,889,439	334,640,659
58	123,578,260	258,000	215,224,051	339,060,311
59	128,431,700	235,200	233,415,961	362,082,861
60	135,581,580	265,800	221,846,182	357,693,562
61	154,915,120	235,200	261,128,906	416,279,226
62	171,366,160	219,600	251,824,473	423,410,233
63	186,064,160	190,200	233,626,407	419,880,767
元	204,714,580	159,000	215,813,040	420,686,620
2	211,158,960	145,200	196,280,662	407,584,822
3	214,528,460	141,600	178,989,212	393,659,272
4	254,995,402	358,955	176,607,980	431,962,337
5	289,305,661	320,330	163,894,818	453,520,809
6	340,773,363	307,455	146,127,731	487,208,549
7	350,439,877	267,285	128,271,141	478,978,303
8	457,671,521	212,695	107,252,612	565,136,828
9	626,286,575	248,230	89,519,245	716,054,050
10	785,339,022	206,515	80,708,769	866,254,306
11	764,966,434	243,080	72,586,558	837,796,072
12	813,168,884	167,375	69,028,872	882,365,131
13	827,763,990	228,375	73,855,466	901,847,831
14	850,070,306	211,575	66,695,380	916,977,261
15	851,546,096	224,700	61,257,411	913,028,207
16	813,224,100	236,250	55,716,132	869,176,482
17	821,977,632	191,625	56,008,753	878,178,010
18	789,899,600	198,450	48,849,427	838,947,477
19	768,466,450	223,650	42,692,511	811,382,611
20	747,356,444	200,550	37,519,652	785,076,646
21	721,204,346	201,600	34,108,085	755,514,031
22	710,363,438	211,575	32,479,255	743,054,268



IV ごみ処理

1. 概要

松戸市のごみ処理事業は、昭和50年代初期に第二清掃工場の建設に対して激しい反対運動を受けたことが一因となってごみの分別や資源の回収が推進されてきた。昭和53年4月には、従来の3分別収集を4分別収集（燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源ごみ・粗大ごみ）に変更し、住民説明会などによる徹底したPR活動を実施した。また、住民が主体となった資源化を推進するため、かねてより一部地域において実施していた町会・自治会単位のリサイクル活動を市が支援することとし、ごみの減量・資源化に努力してきた。市が収集する資源ごみについても、昭和54年度に資源リサイクルセンターを設置して資源選別処理を実施している。分別収集は、昭和59年10月に有害ごみを加え、5分別収集となった。

昭和60年代に入るとごみの排出量がいちじるしく増加し、将来のごみ処理事業に危惧を感じさせるものとなった。このため平成2年4月「ごみを減らす課」を設置（平成8年度より、ごみを減らす係に変更）し、より一層ごみの減量、資源化の推進を図っている。

焼却処理は、クリーンセンターと和名ヶ谷クリーンセンターにより行っている。（六和クリーンセンターは平成14年11月廃止）

埋立処分は、清掃工場から排出される焼却灰を中心に、再利用が出来ない陶磁器・ガラス屑を埋立処分しているが、平成13年度から焼却灰の一部をエコセメントとして利用する取り組みを行っている。

また、従来、埋立処分をしていた廃プラスチック類は、平成5年1月から平成13年3月まで松戸市独自の取り組みとして民間企業と連携し、固形燃料としてのリサイクルを進めていた。

しかし、平成13年4月からは、分別区分を5分別から8分別に変更し、容器包装プラスチックとペットボトルの分別収集を開始して、固形燃料化によるリサイクルに変えて、新たに容器包装リサイクル法に基づいたルートでのプラスチックとペットボトルのリサイクルを行っている。更に、平成22年度からは、その他プラスチックの一部を民間に委託して資源化処理を実施している。

なお、松戸市は、市域の約73%が市街化され市内に最終処分場を確保することが困難な状況となっている。そのため、市では、最終処分する廃棄物量を極力減らすと共に、市外の民間最終処分場との共生を図っている。

※ 松戸市のごみ処理事業の特徴

- (1) 排出原単位 769.4g/日・人（平成21年度全国平均 994 g/日・人）
- (2) 資源リサイクル事業の早期開始と安定した資源回収の継続
- (3) 8分別収集の徹底
- (4) 高度な公害防止設備、地元還元施設など施設周辺対策の充実
- (5) 容器包装リサイクル法に基づいたルートでのプラスチックとペットボトルのリサイクルの実施。

※ ごみの分別内容（平成23年度）

分別区分	ごみの種類
燃やせるごみ	食品残さ、資源にならない紙類・布類（濡れたり、汚れのあるもの）、紙くず、草・樹木枝、紙おむつ、煙草の吸殻等
陶磁器・ガラス などのごみ	陶磁器類、ガラス類、刃物、鏡、傘、電球、化粧品ビン、大きなプラスチック製品類（30cm以上50cm未満のもの）
リサイクルする プラスチック	商品の容器や包装に使われているプラスチック製品類
その他のプラスチック などのごみ	プラスチック製品類（文具や日用品などそれ自体を利用するもの）、ゴム類、合成皮革製品類、「リサイクルするプラスチック」のうち汚れが付着しているもの
ペットボトル	飲料用・しょうゆ・酒・みりんのペットボトル
資源ごみ	紙類/ダンボール、新聞・チラシ、雑誌等 布類/衣類・毛布・シーツ・カーテン〔レースを含む〕（50cm未満にたたんでひもで縛って出す） びん・ガラス類/生きびん、カレット等 カン金属類/カン、自転車、扇風機、掃除機等 （粗大ごみの家電・金属製品類の指定品目を除く）
粗大ごみ	家具類、建具類、その他（50cm角以上のもの）、家電（家電リサイクル法対象品目を除く）・金属製品類の指定品目、布団類
有害ごみ	乾電池、蛍光灯、体温計等

※ ごみ処理基本計画

・ 策定経過	昭和 63 年度	一般廃棄物処理基本計画	(ごみ編)
	平成 元 年度	一般廃棄物処理基本計画	(ごみ編) 一部変更
	平成 4 年度	ごみ処理基本計画	
	平成 9 年度	ごみ処理基本計画	
	平成 14 年度	ごみ処理基本計画	
	平成 19 年度	ごみ処理基本計画	

○ごみ処理基本計画フレーム

◆ 目指すべき将来像（資源循環型社会）

人が地球生態系の一員として、また市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会とします。

◆ 基本方針

「資源循環型社会」を構築していく上での基盤となる 3R 施策について、市民の発意と協働を基本として推進していきます。

また、最終的に排出されるごみについては、環境への負荷の低減に努めながら、適正に処理していくこととします。

◆ 計画期間

平成 20 年度（2008 年度）から平成 32 年度（2020 年度）までとします。

◆ 計画目標値

計 画 目 標	計 画 年 次 (平 成 32 年 度)
原 単 位	800 g / 人・日
リサイクル率	35%以上
焼却処理量	106,000 t 以下 / 年
最終処分量	11,000 t 以下 / 年
温室効果ガス排出量	26,000 t 以下 / 年

※原単位は市民一人が 1 日当りに排出するごみ量です。

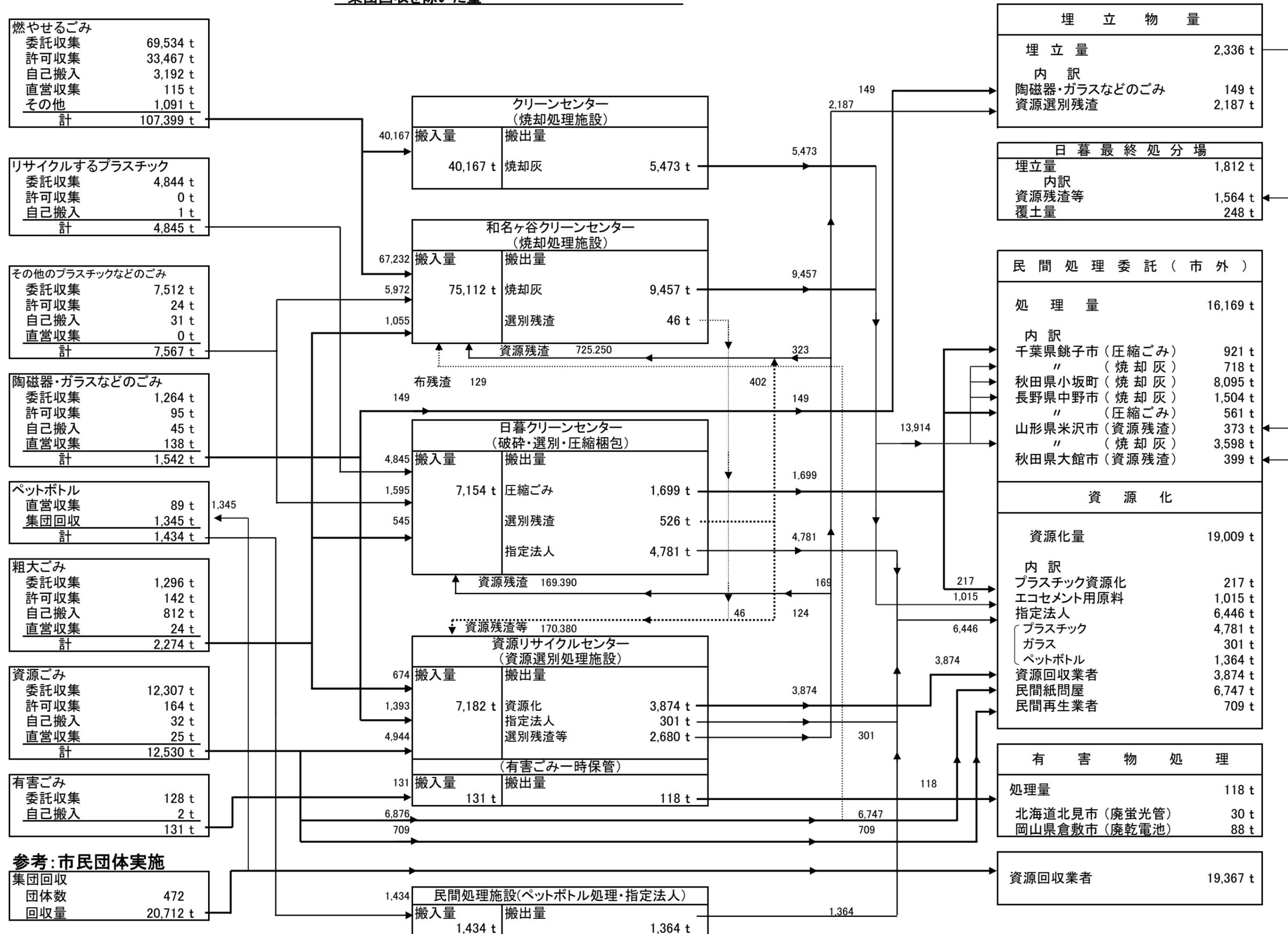
※温室効果ガス排出量は二酸化炭素量に換算したものです。換算には、市地球温暖化防止実行計画の係数を用いています。

平成22年度 ごみ処理フローシート

総ごみ量 137,721t

うちペットボトルの
集団回収を除いた量 136,375.324 t

※注:kg単位の集計をt単位とした為、合計のあわない箇所があります。



2. ごみ収集

本市においてごみの収集搬入形態は、委託収集、許可業者収集、直営収集、自己搬入の4形態があり、排出源との関連は次表のとおりとなっています。

なお、家庭系、事業系の区分は、収集搬入形態から類推した便宜上の区分であり、厳密な意味での分類ではありません。

排出源	収集搬入形態	備考
(1) 家庭系ごみ	委託収集	ごみ集積所収集、粗大ごみ収集
	直営収集	ペットボトルの拠点回収
	自己搬入	市民が自ら処理施設に搬入したごみ
(2) 事業系ごみ	許可業者収集	一般廃棄物収集運搬業者による収集
	自己搬入	事業者が処理施設に搬入したごみ
(3) その他のごみ	直営収集	不法投棄ごみ等
	自己搬入	公共施設ごみ

なお、市において処理出来ないごみとして、ピアノ・タイヤ・畳・消火器・耐火金庫・ガスボンベ・廃油・バッテリー・オートバイ等を指定し、処分については、販売店及び下取業者へ依頼するようお願いしています。

また、家庭系ごみのうち、収集しないごみとして、引越しごみ・新改築等が出たごみ等があり、自己搬入するか許可業者等の処理業者に依頼する等の処置をとるようお願いしています。

(1) 家庭系ごみの収集体制

① 計画区域内人口・世帯数

人 口	世 帯 数	(注) : 人口・世帯数は 平成22年10月1日現在
485,640	212,111世帯	

② 分別・収集方法 (23年度)

ごみの種類	回数	収 集 方 法
燃やせるごみ	3/週	紙袋によるステーション方式 (月1回は、「陶磁器・ガラスなど のごみ」の収集)
陶磁器・ガラスなどのごみ	1/月	ポリ袋及びビニール袋による ステーション方式
リサイクルするプラスチック	1/週	ポリ袋及びビニール袋による ステーション方式
その他のプラスチックなどのごみ	1/週	ポリ袋及びビニール袋による ステーション方式
資源ごみ・有害ごみ	1/週	ポリ袋及びビニール袋による ステーション方式
資源ごみ(紙・布類)	1/週	ひもで縛る(紙類は種類ごとに) ステーション方式
粗大ごみ	随 時	電話申込による戸別収集(有料)
ペットボトル	随 時	拠点回収

③ ごみ集積所 (平成23年4月1日現在)

分 別 区 分 名	箇 所 数
燃やせるごみ(陶磁器・ガラスなどのごみ含む)	13,987ヶ所
リサイクルするプラスチック/その他のプラスチックなどのごみ	11,651ヶ所
資源ごみ/有害ごみ	11,191ヶ所

④ 収集体制 (平成23年4月1日現在)

区 分	分 別 区 分 名	業 者 数	車 両 台 数
委 託	燃やせるごみ(陶磁器・ガラスなどのごみ含む)	1業者	32台(2人乗務)
	リサイクルするプラスチック		9台(2人乗務)
	その他のプラスチックなどのごみ		9台(2人乗務)
	資源ごみ/有害ごみ		18台(2人乗務)
	粗大ごみ		4台(2人乗務)
	合 計		72台
直 営	ペットボトル		

※委託業者名簿をⅧ参考資料 P.188 に掲載しています。

⑤ ごみ収集委託料【平成23年度単価（消費税を含まず）】

ごみの種類	基本額 (1台/月)	祝日基本額 (1台当たり)	従量制 (1kg当たり)
燃やせるごみ (陶磁器・ガラスなどのごみ)	1,145,000円	36,500円	2.86円
リサイクルするプラスチック	1,683,000円	36,500円	
その他のプラスチック などのごみ	1,148,500円	36,500円	7.7円
資源ごみ及び有害ごみ	1,620,000円	36,500円	
粗大ごみ	1,620,000円	36,500円	
動物死体	1,500円/頭		

⑥ 年間収集委託料支払い額（平成22年度実績）

分別区分名	総額
燃やせるごみ（陶磁器・ガラスなどのごみ）	686,447,655円
リサイクルするプラスチック	194,646,375円
その他のプラスチックなどのごみ	194,767,341円
資源ごみ/有害ごみ	375,006,763円
粗大ごみ	83,334,300円
動物死体	1,398,600円
合計	1,535,601,034円

(2) 事業系ごみの収集体制

① 松戸市内事業所数及び従業員数

事業所数	従業員数	出典：平成22年版松戸市統計書
13,196 事業所	124,072 人	平成18年10月1日現在

② 対象ごみ

ア. 事業系一般廃棄物

イ. 産業廃棄物のうち、木くず・紙くず・繊維くず・下水道し渣

(※松戸市が一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物については

Ⅷ参考資料P.174⑥を参照)

③ 許可業者（一般廃棄物収集運搬業）収集

許可業者は排出事業者との契約により戸別収集し、処理施設に搬入する。

ア. 許可業者数及び車両数（平成23年8月1日現在）

37業者128台

※ 許可業者名簿をⅧ参考資料 P.189 に掲載しています。

(3) その他のごみの収集体制

直営収集

対象ごみ 不法投棄ごみ等

※ 直営収集体制（平成23年度）

ア. 対象ごみ ペットボトル回収・不法投棄ごみ等

イ. 車両・人員 8台 専任職員11人

3. 平成22年度 ごみ収集・搬入量総括表

(1) 搬入形態別ごみ量

(単位:kg)

種別	排出源	委託収集	割合%	許可業者	割合%	自己搬入	割合%	直営収集	割合%	産業廃棄物 (自己搬入)	割合%	合計
燃やせるごみ	家庭系	69,533,920	51.0			86,790	0.1					69,620,710
	事業系			33,466,990	24.5	2,713,670	2.0			28,310	0.0	36,208,970
	その他					1,453,890	1.1	115,110	0.1			1,569,000
	計	69,533,920	51.0	33,466,990	24.5	4,254,350	3.1	115,110	0.1	28,310	0.0	107,398,680
陶磁器・ガラスなどのごみ	家庭系	1,264,440	0.9			40,020	0.0					1,304,460
	事業系			95,050	0.1							95,050
	その他					4,870	0.0	137,630	0.1			142,500
	計	1,264,440	0.9	95,050	0.1	44,890	0.0	137,630	0.1	0	0.0	1,542,010
リサイクルするプラスチック	家庭系	4,843,950	3.6			120	0.0					4,844,070
	事業系					570	0.0					570
	その他							0	0.0			0
	計	4,843,950	3.6	0	0.0	690	0.0	0	0.0	0	0.0	4,844,640
その他のプラスチックなどのごみ	家庭系	7,511,560	5.5			6,390	0.0					7,517,950
	事業系			24,210	0.0	4,260	0.0					28,470
	その他					20,400	0.0	0	0.0			20,400
	計	7,511,560	5.5	24,210	0.0	31,050	0.0	0	0.0	0	0.0	7,566,820
ペットボトル	家庭系							88,850	0.1			88,850
	事業系											0
	その他											0
	計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	88,850	0.1	0	0.0	88,850
資源ごみ	家庭系	12,307,315	9.0			4,720	0.0					12,312,035
	事業系			164,450	0.1	11,890	0.0					176,340
	その他					15,730	0.0	25,450	0.0			41,180
	計	12,307,315	9.0	164,450	0.1	32,340	0.0	25,450	0.0	0	0.0	12,529,555
粗大ごみ	家庭系	1,295,860	1.0			796,040	0.6					2,091,900
	事業系			142,480	0.1	2,470	0.0					144,950
	その他					13,390	0.0	23,770	0.0			37,160
	計	1,295,860	1.0	142,480	0.1	811,900	0.6	23,770	0.0	0	0.0	2,274,010
有害ごみ	家庭系	128,315	0.1									128,315
	事業系											0
	その他					2,444	0.0	0	0.0			2,444
	計	128,315	0.1	0	0.0	2,444	0.0	0	0.0	0	0.0	130,759
合 計	家庭系	96,885,360	71.0	0	0.0	934,080	0.7	88,850	0.1	0	0.0	97,908,290
	事業系	0	0.0	33,893,180	24.9	2,732,860	2.0	0	0.0	28,310	0.0	36,654,350
	その他	0	0.0	0	0.0	1,510,724	1.1	301,960	0.2	0	0.0	1,812,684
	計	96,885,360	71.0	33,893,180	24.9	5,177,664	3.8	390,810	0.3	28,310	0.0	136,375,324

注: 割合は、総ごみ量137,720,544kgのうちペットボトルの集団回収量1,345,220kgを除くごみ量 136,375,324kg に対する割合を記載しています。

(2) 種類別・排出源別ごみ量データ

区分	種類	種類								
		燃やせるごみ	陶磁器・ガラスなどのごみ	リサイクルするプラスチック	その他のプラスチックなどのごみ	ペットボトル	資源ごみ	粗大ごみ	有害ごみ	合計
家庭系	ごみ量 (kg)	69,620,710	1,304,460	4,844,070	7,517,950	88,850	12,312,035	2,091,900	128,315	97,908,290
	総ごみ量に対する割合 (%)	51.1	1.0	3.6	5.5	0.1	9.0	1.5	0.1	71.8
	収集日平均 (kg/日)	226,777.6	4,249.1	15,778.7	24,488.4	289.4	40,104.3	6,814.0	418.0	318,919.5
	暦日平均 (kg/日)	190,741.7	3,573.9	13,271.4	20,597.1	243.4	33,731.6	5,731.2	351.5	268,241.9
	一人一日量 (g/日・人)	392.8	7.4	27.3	42.4	0.5	69.5	11.8	0.7	552.3
事業系	ごみ量 (kg)	36,208,970	95,050	570	28,470	0	176,340	144,950	0	36,654,350
	総ごみ量に対する割合 (%)	26.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	26.9
	収集日平均 (kg/日)	117,944.5	309.6	1.9	92.7	0.0	574.4	472.1	0.0	119,395.3
	暦日平均 (kg/日)	99,202.7	260.4	1.6	78.0	0.0	483.1	397.1	0.0	100,422.9
	一人一日量 (g/日・人)	204.3	0.5	0.0	0.2	0.0	1.0	0.8	0.0	206.8
その他	ごみ量 (kg)	1,569,000	142,500	0	20,400	0	41,180	37,160	2,444	1,812,684
	総ごみ量に対する割合 (%)	1.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
	収集日平均 (kg/日)	5,110.7	464.2	0.0	66.4	0.0	134.1	121.0	8.0	5,904.5
	暦日平均 (kg/日)	4,298.6	390.4	0.0	55.9	0.0	112.8	101.8	6.7	4,966.3
	一人一日量 (g/日・人)	8.9	0.8	0.0	0.1	0.0	0.2	0.2	0.0	10.2
合計	ごみ量 (kg)	107,398,680	1,542,010	4,844,640	7,566,820	88,850	12,529,555	2,274,010	130,759	136,375,324
	総ごみ量に対する割合 (%)	78.8	1.1	3.6	5.5	0.1	9.2	1.7	0.1	100.0
	収集日平均 (kg/日)	349,832.8	5,022.8	15,780.6	24,647.6	289.4	40,812.9	7,407.2	425.9	444,219.3
	暦日平均 (kg/日)	294,243.0	4,224.7	13,273.0	20,731.0	243.4	34,327.5	6,230.2	358.2	373,631.0
	一人一日量 (g/日・人)	605.9	8.7	27.3	42.7	0.5	70.7	12.8	0.7	769.4

※ 収集日数 307日

暦日数 365日

人口 (平成22年10月1日現在)

485,640人

(3) 平成22年度 種類別月別収集量

(単位: kg)

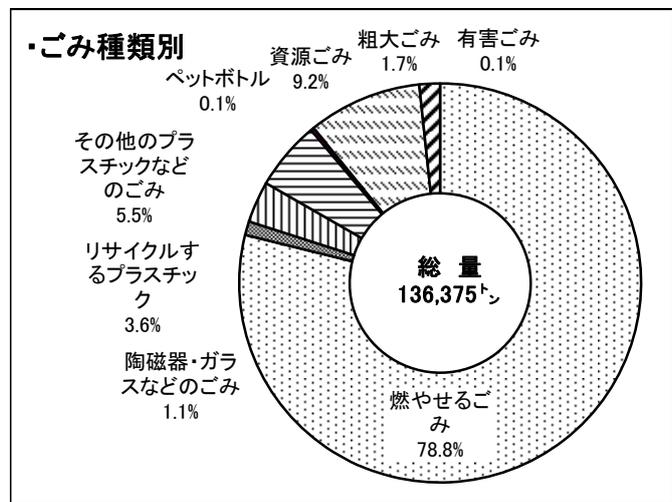
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家庭系	燃やせるごみ	5,625,330	6,305,490	6,111,860	6,413,210	5,954,010	5,467,370	5,782,800	5,964,540	6,229,650	5,567,450	4,694,670	5,504,330	69,620,710
	陶磁器・ガラスなどのごみ	107,840	116,530	93,840	96,750	97,080	80,510	120,010	97,510	108,490	110,990	84,470	190,440	1,304,460
	リサイクルするプラスチック	406,800	408,180	398,720	408,260	392,310	397,910	389,180	401,820	431,190	426,580	363,410	419,710	4,844,070
	その他のプラスチックなどのごみ	641,310	676,410	604,450	628,820	601,840	588,660	619,790	612,260	716,180	644,350	511,280	672,600	7,517,950
	ペットボトル	5,990	7,450	7,730	9,280	11,250	9,560	7,520	6,730	5,870	6,300	5,330	5,840	88,850
	資源ごみ	1,048,103	1,068,496	978,880	1,065,927	1,004,888	917,269	1,021,802	1,029,150	1,259,151	1,036,467	806,576	1,075,326	12,312,035
	粗大ごみ	183,870	182,110	169,510	179,300	187,440	150,560	178,380	188,970	215,920	142,560	132,330	180,950	2,091,900
	有害ごみ	9,317	9,124	8,760	8,543	8,952	8,621	10,038	11,110	16,459	12,443	8,694	16,254	128,315
	計	8,028,560	8,773,790	8,373,750	8,810,090	8,257,770	7,620,460	8,129,520	8,312,090	8,982,910	7,947,140	6,606,760	8,065,450	97,908,290
事業系	燃やせるごみ	2,956,260	3,036,990	3,138,850	3,298,390	3,022,290	3,085,110	3,123,510	3,145,510	3,250,440	2,789,040	2,537,240	2,825,340	36,208,970
	陶磁器・ガラスなどのごみ	6,370	9,420	5,760	5,680	10,830	8,030	6,100	7,530	8,490	8,260	6,540	12,040	95,050
	リサイクルするプラスチック	20	140	30	80	30	20	60	80	50	10	30	20	570
	その他のプラスチックなどのごみ	8,120	3,820	2,260	1,340	940	980	870	3,320	2,240	1,550	530	2,500	28,470
	ペットボトル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資源ごみ	18,850	13,630	15,470	13,520	13,020	14,110	16,040	12,490	16,930	14,160	14,690	13,430	176,340
	粗大ごみ	11,630	13,160	11,740	11,310	12,110	19,230	14,740	11,760	15,130	8,730	5,830	9,580	144,950
	有害ごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,001,250	3,077,160	3,174,110	3,330,320	3,059,220	3,127,480	3,161,320	3,180,690	3,293,280	2,821,750	2,564,860	2,862,910	36,654,350
その他	燃やせるごみ	129,860	165,240	150,350	162,290	122,740	126,170	81,830	102,490	154,910	114,940	121,660	136,520	1,569,000
	陶磁器・ガラスなどのごみ	16,690	13,660	18,250	10,340	9,490	8,670	12,150	7,260	7,360	4,160	12,390	22,080	142,500
	リサイクルするプラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のプラスチックなどのごみ	0	9,090	0	0	0	0	11,050	40	30	0	0	190	20,400
	ペットボトル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資源ごみ	4,430	7,390	3,250	1,630	2,360	650	11,420	2,450	2,340	2,070	950	2,240	41,180
	粗大ごみ	3,520	4,740	4,020	2,680	1,410	2,330	1,540	4,560	4,200	1,850	5,000	1,310	37,160
	有害ごみ	26	34	134	0	24	38	21	23	60	18	1,237	829	2,444
	計	154,526	200,154	176,004	176,940	136,024	137,858	118,011	116,823	168,900	123,038	141,237	163,169	1,812,684
合計	燃やせるごみ	8,711,450	9,507,720	9,401,060	9,873,890	9,099,040	8,678,650	8,988,140	9,212,540	9,635,000	8,471,430	7,353,570	8,466,190	107,398,680
	陶磁器・ガラスなどのごみ	130,900	139,610	117,850	112,770	117,400	97,210	138,260	112,300	124,340	123,410	103,400	224,560	1,542,010
	リサイクルするプラスチック	406,820	408,320	398,750	408,340	392,340	397,930	389,240	401,900	431,240	426,590	363,440	419,730	4,844,640
	その他のプラスチックなどのごみ	649,430	689,320	606,710	630,160	602,780	589,640	631,710	615,620	718,450	645,900	511,810	675,290	7,566,820
	ペットボトル	5,990	7,450	7,730	9,280	11,250	9,560	7,520	6,730	5,870	6,300	5,330	5,840	88,850
	資源ごみ	1,071,383	1,089,516	997,600	1,081,077	1,020,268	932,029	1,049,262	1,044,090	1,278,421	1,052,697	822,216	1,090,996	12,529,555
	粗大ごみ	199,020	200,010	185,270	193,290	200,960	172,120	194,660	205,290	235,250	153,140	143,160	191,840	2,274,010
	有害ごみ	9,343	9,158	8,894	8,543	8,976	8,659	10,059	11,133	16,519	12,461	9,931	17,083	130,759
	総計	11,184,336	12,051,104	11,723,864	12,317,350	11,453,014	10,885,798	11,408,851	11,609,603	12,445,090	10,891,928	9,312,857	11,091,529	136,375,324

4. 平成22年度ごみ収集・搬入量

(1) 総ごみ量

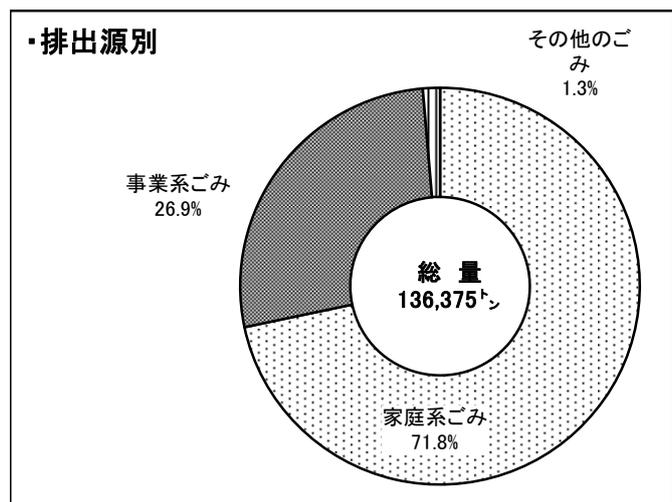
① ごみ種類別(8分別)

種 別	ごみ量(kg)
燃やせるごみ	107,398,680
陶磁器・ガラスなどのごみ	1,542,010
リサイクルするプラスチック	4,844,640
その他のプラスチックなどのごみ	7,566,820
ペットボトル	88,850
資源ごみ	12,529,555
粗大ごみ	2,274,010
有害ごみ	130,759
合 計	136,375,324



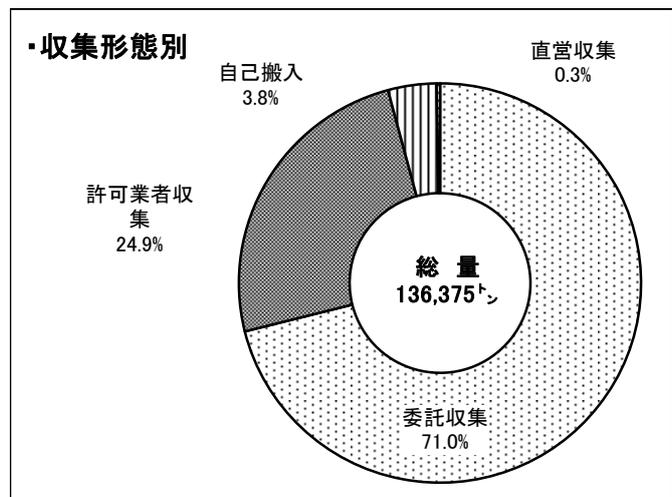
② 排出源別

種 別	ごみ量(kg)
家庭系ごみ	97,908,290
事業系ごみ	36,654,350
その他のごみ	1,812,684
合 計	136,375,324



③ 収集形態別

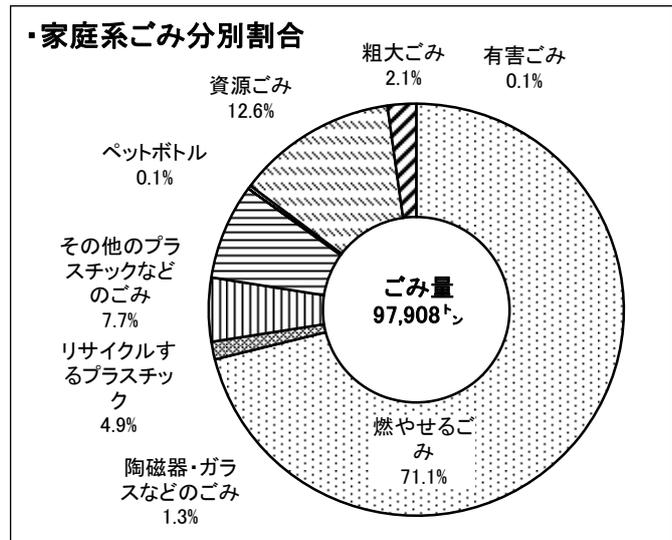
種 別	ごみ量(kg)
委託収集	96,885,360
許可業者収集	33,893,180
自己搬入	5,205,974
直営収集	390,810
合 計	136,375,324



(2) 家庭系ごみ

① 8分別収集・搬入量

種 別	ごみ量(kg)
燃やせるごみ	69,620,710
陶磁器・ガラスなどのごみ	1,304,460
リサイクルするプラスチック	4,844,070
その他のプラスチックなどのごみ	7,517,950
ペットボトル	88,850
資源ごみ	12,312,035
粗大ごみ	2,091,900
有害ごみ	128,315
合 計	97,908,290



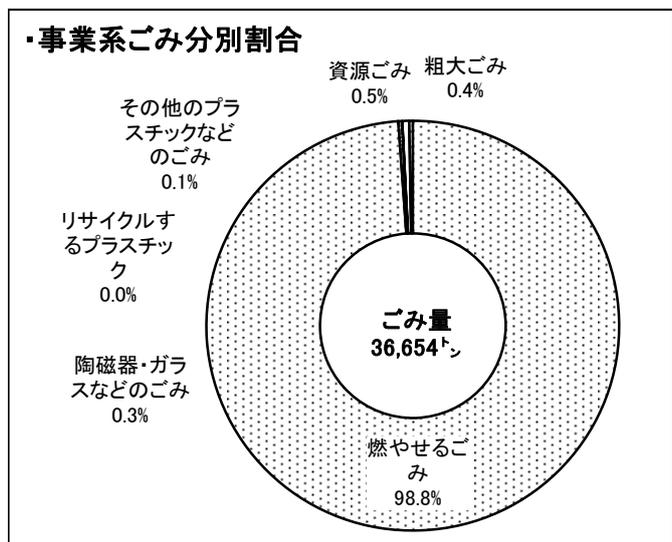
② 収集形態別搬入量

種 別	ごみ量(kg)
委託収集	96,885,360
自己搬入	934,080
直営収集	88,850
合 計	97,908,290

(3) 事業系ごみ

① 6分別収集・搬入量

種 別	ごみ量(kg)
燃やせるごみ	36,208,970
陶磁器・ガラスなどのごみ	95,050
リサイクルするプラスチック	570
その他のプラスチックなどのごみ	28,470
資源ごみ	176,340
粗大ごみ	144,950
合 計	36,654,350



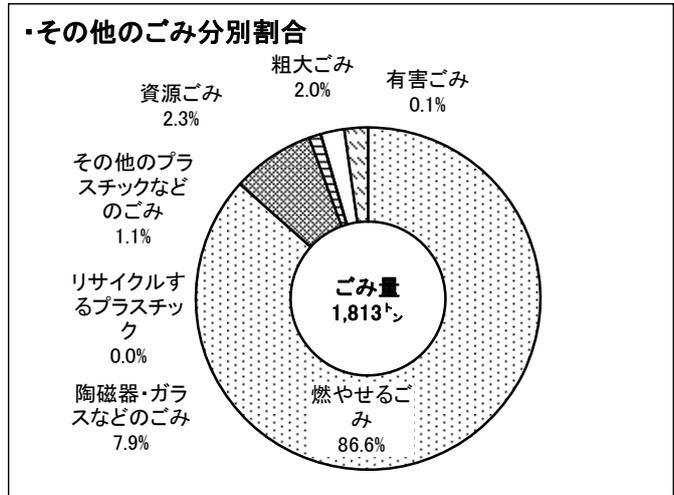
② 収集形態別搬入量

種 別	ごみ量(kg)
許可業者収集	33,893,180
自己搬入	2,732,860
自己搬入(産廃)	28,310
合 計	36,654,350

(4)その他のごみ

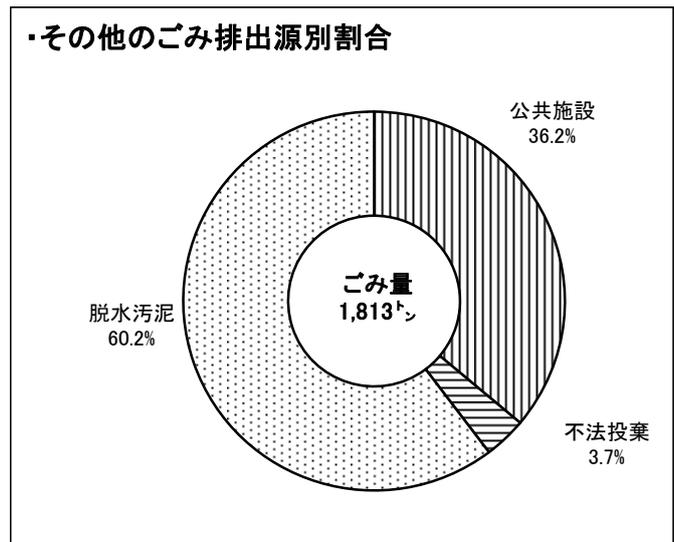
①分別収集・搬入量

種 別	ごみ量(kg)
燃 や せ る ご み	1,569,000
陶 磁 器 ・ ガ ラ ス な ど の ご み	142,500
リ サ イ ク ル す る プ ラ ス チ ッ ク	0
そ の 他 の プ ラ ス チ ッ ク な ど の ご み	20,400
資 源 ご み	41,180
粗 大 ご み	37,160
有 害 ご み	2,444
合 計	1,812,684



②収集形態別搬入量

種 別	ごみ量(kg)
公 共 施 設	655,364
不 法 投 棄	66,530
脱 水 汚 泥	1,090,790
合 計	1,812,684



③搬入形態別収集搬入量

種 別	ごみ量(kg)
直 営 収 集	301,960
自 己 搬 入	1,510,724
合 計	1,812,684

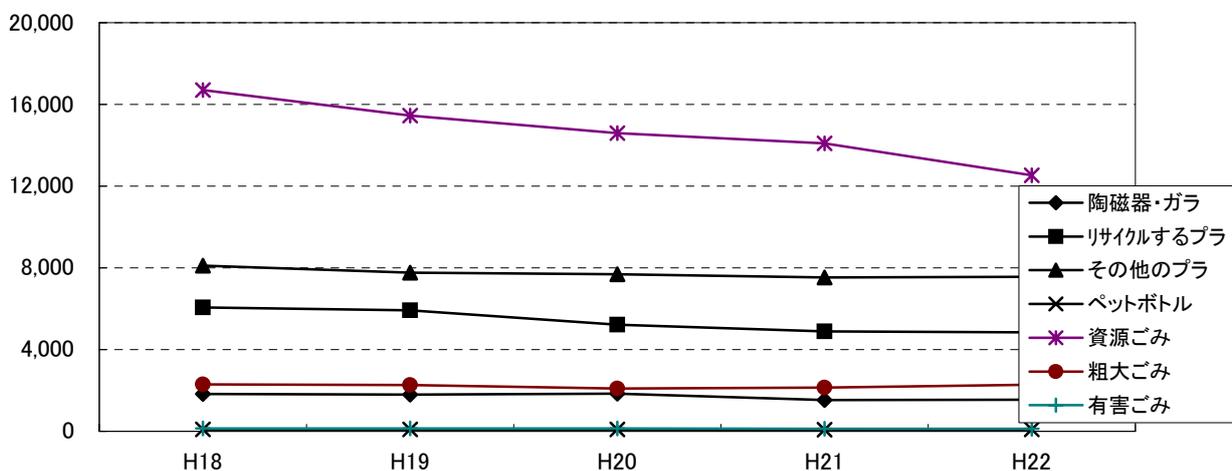
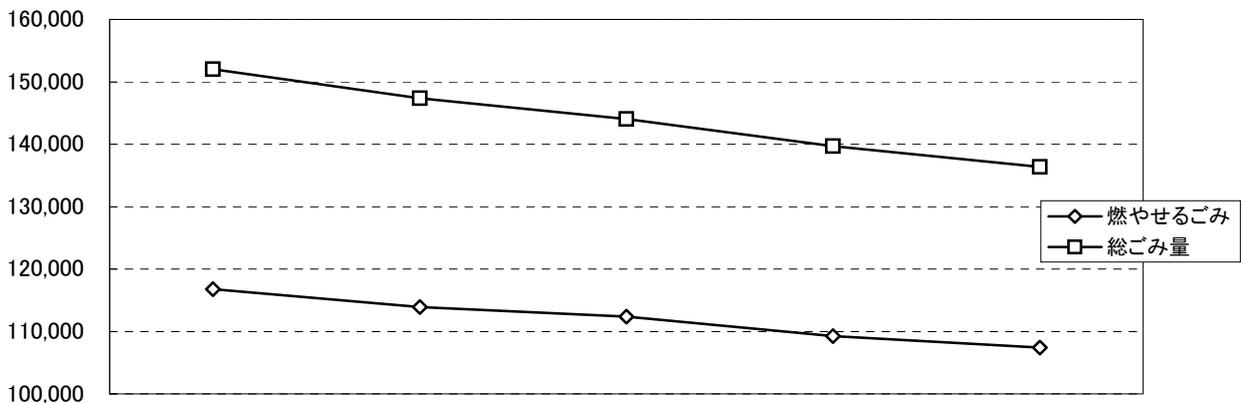
5. ごみ収集・搬入量経年変化

(1) 総ごみ量

① 分別収集別

(単位:kg)

年度	18	19	20	21	22
燃やせるごみ	116,797,430	113,914,300	112,386,930	109,262,470	107,398,680
前年度比%	△ 1.3	△2.5	△1.3	△2.8	△1.7
陶磁器・ガラスなどのごみ	1,827,360	1,790,400	1,848,420	1,538,320	1,542,010
前年度比%	4.0	△2.0	3.2	△16.8	0.2
リサイクルするプラスチック	6,068,070	5,920,070	5,220,450	4,886,510	4,844,640
前年度比%	△ 9.8	△2.4	△11.8	△6.4	△0.9
その他のプラスチックなどのごみ	8,110,830	7,772,270	7,682,850	7,537,720	7,566,820
前年度比%	5.0	△4.2	△1.2	△1.9	0.4
ペットボトル	90,620	94,910	86,460	84,430	88,850
前年度比%	△ 5.1	4.7	△8.9	△2.3	5.2
資源ごみ	16,700,588	15,458,184	14,600,359	14,101,549	12,529,555
前年度比%	5.6	△7.4	△5.5	△3.4	△11.1
粗大ごみ	2,300,290	2,272,110	2,094,120	2,143,690	2,274,010
前年度比%	7.5	△1.2	△7.8	2.4	6.1
有害ごみ	141,123	138,152	134,912	121,884	130,759
前年度比%	△ 7.1	△2.1	△2.3	△9.7	7.3
総ごみ量	152,036,311	147,360,396	144,054,501	139,676,573	136,375,324
前年度比%	△0.4	△3.1	△2.2	△3.0	△2.4



② 排出源別ごみ量推移

(単位:kg)

年 度	18	19	20	21	22
家 庭 系	107,032,070	103,872,440	101,961,320	99,904,010	97,908,290
前年度比%	1.5	△3.0	△1.8	△2.0	△2.0
事 業 系	41,799,360	40,556,130	39,320,500	37,725,040	36,654,350
前年度比%	△5.3	△3.0	△3.0	△4.1	△2.8
そ の 他	3,204,881	2,931,826	2,772,681	2,047,523	1,812,684
前年度比%	3.1	△8.5	△5.4	△26.2	△11.5
合 計	152,036,311	147,360,396	144,054,501	139,676,573	136,375,324
前年度比%	△0.4	△3.1	△2.2	△3.0	△2.4

③ 収集形態別ごみ量推移

(単位:kg)

年 度	18	19	20	21	22
委 託 収 集	106,150,390	102,955,380	100,836,890	98,944,610	96,885,360
前年度比%	1.5	△3.0	△2.1	△1.9	△2.1
許 可 業 者	39,095,370	38,103,270	36,417,380	34,987,850	33,893,180
前年度比%	△5.0	△2.5	△4.4	△3.9	△3.1
自 己 搬 入	6,146,551	5,705,296	6,304,751	5,292,083	5,177,664
前年度比%	△2.3	△7.2	10.5	△16.1	△2.2
直 営 収 集	575,010	537,310	469,110	423,570	390,810
前年度比%	0.7	△6.6	△12.7	△9.7	△7.7
自 己 搬 入 (産 廃)	68,990	59,140	26,370	28,460	28,310
前年度比%	△16.5	△14.3	△55.4	7.9	△0.5
合 計	152,036,311	147,360,396	144,054,501	139,676,573	136,375,324
前年度比%	△0.4	△3.1	△2.2	△3.0	△2.4

(2) 家庭系ごみ収集・搬入量推移

(単位:kg)

年 度	18	19	20	21	22
燃 や せ る ご み	72,924,680	71,489,890	71,242,390	70,448,990	69,620,710
前年度比%	0.9	△2.0	△0.3	△1.1	△1.2
陶磁器・ガラスなどのごみ	1,522,640	1,522,380	1,585,010	1,231,630	1,304,460
前年度比%	2.9	0.0	4.1	△22.3	5.9
リサイクルするプラスチック	6,016,410	5,863,260	5,167,650	4,878,680	4,844,070
前年度比%	△9.6	△2.5	△11.9	△5.6	△0.7
その他のプラスチックなどのごみ	7,962,350	7,599,550	7,523,330	7,423,660	7,517,950
前年度比%	6.2	△4.6	△1.0	△1.3	1.3
ペ ッ ト ボ ト ル	90,620	94,910	86,460	84,430	88,850
前年度比%	△5.1	4.7	△8.9	△2.3	5.2
資 源 ご み	16,542,008	15,308,444	14,405,929	13,843,339	12,312,035
前年度比%	6.0	△7.5	△5.9	△3.9	△11.1
粗 大 ご み	1,835,110	1,856,100	1,822,880	1,872,840	2,091,900
前年度比%	7.4	1.1	△1.8	2.7	11.7
有 害 ご み	138,252	137,906	127,671	120,441	128,315
前年度比%	△7.4	△0.3	△7.4	△5.7	6.5
総 ご み 量	107,032,070	103,872,440	101,961,320	99,904,010	97,908,290
前年度比%	1.5	△3.0	△1.8	△2.0	△2.0

(3) 事業系ごみ収集・搬入量推移

(単位:kg)

年 度	18	19	20	21	22
燃 や せ る ご み	41,083,520	39,838,900	38,650,660	37,101,610	36,208,970
前年度比%	△5.1	△3.0	△3.0	△4.0	△2.4
陶磁器・ガラスなどのごみ	118,640	113,030	105,340	93,850	95,050
前年度比%	△3.0	△4.7	△6.8	△10.9	1.3
リサイクルするプラスチック	51,420	56,810	52,800	7,270	570
前年度比%	△27.3	10.5	△7.1	△86.2	△92.2
その他のプラスチックなどのごみ	134,370	157,570	141,990	98,370	28,470
前年度比%	△36.4	17.3	△9.9	△30.7	△71.1
資 源 ご み	97,290	95,260	158,120	218,590	176,340
前年度比%	△32.8	△2.1	66.0	38.2	△19.3
粗 大 ご み	314,120	294,560	211,590	205,350	144,950
前年度比%	13.0	△6.2	△28.2	△2.9	△29.4
総 ご み 量	41,799,360	40,556,130	39,320,500	37,725,040	36,654,350
前年度比%	△5.3	△3.0	△3.0	△4.1	△2.8

(4) その他のごみ収集・搬入量推移

① 分別収集・搬入量

(単位:kg)

年 度	18	19	20	21	22
燃 や せ る ご み	2,789,230	2,585,510	2,493,880	1,711,870	1,569,000
前年度比%	3.0	△7.3	△3.5	△31.4	△8.3
陶磁器・ガラスなどのごみ	186,080	154,990	158,070	212,840	142,500
前年度比%	19.8	△16.7	2.0	34.6	△33.0
リサイクルするプラスチック	240	0	0	560	0
前年度比%	皆増	皆減	-	皆増	皆減
その他のプラスチックなどのごみ	14,110	15,150	17,530	15,690	20,400
前年度比%	△13.7	7.4	15.7	△10.5	30.0
資 源 ご み	61,290	54,480	36,310	39,620	41,180
前年度比%	△16.8	△11.1	△33.4	9.1	3.9
粗 大 ご み	151,060	121,450	59,650	65,500	37,160
前年度比%	△2.0	△19.6	△50.9	9.8	△43.3
有 害 ご み	2,871	246	7,241	1,443	2,444
前年度比%	10.9	△91.4	2,843.5	△80.1	69.4
総 ご み 量	3,204,881	2,931,826	2,772,681	2,047,523	1,812,684
前年度比%	3.1	△8.5	△5.4	△26.2	△11.5

② 排出源別ごみ量推移

(単位:kg)

年 度	18	19	20	21	22
公 共 施 設	1,055,151	1,001,226	728,421	789,923	655,364
前年度比%	25.4	△5.1	△27.2	8.4	△17.0
不 法 投 棄	241,940	196,630	110,020	71,020	66,530
前年度比%	△4.1	△18.7	△44.0	△35.4	△6.3
脱 水 汚 泥	1,907,790	1,733,970	1,934,240	1,186,580	1,090,790
前年度比%	△5.4	△9.1	11.5	△38.7	△8.1
合 計	3,204,881	2,931,826	2,772,681	2,047,523	1,812,684
前年度比%	3.1	△8.5	△5.4	△26.2	△11.5

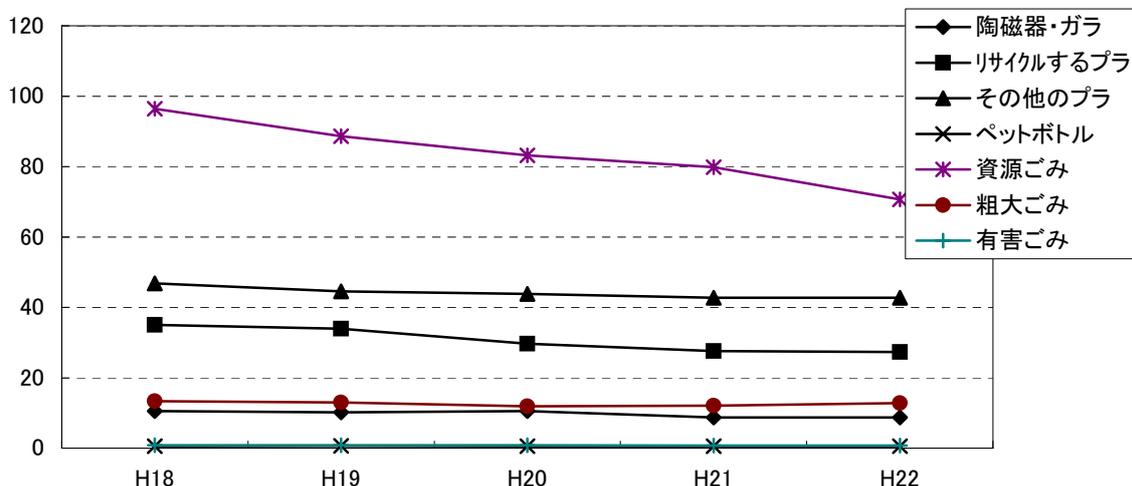
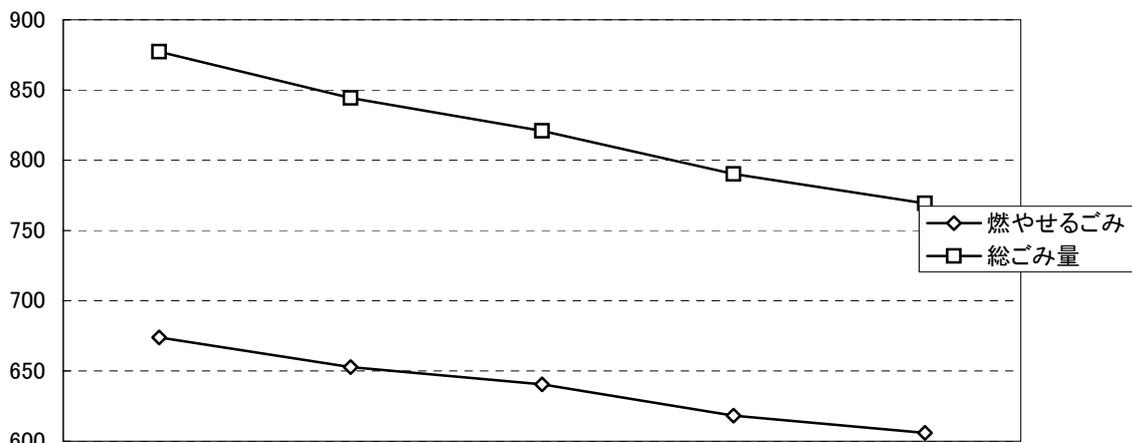
6. 原単位

(1) 市民一人一日当りの排出量(排出原単位)

① ごみ区分別

(単位:g/日・人)

年 度 (暦日日数)	18 (365)	19 (366)	20 (365)	21 (365)	22 (365)
燃 や せ る ご み	673.9	652.8	640.4	618.2	605.9
前年度比%	△1.7	△3.1	△1.9	△3.5	△2.0
陶磁器・ガラスなどのごみ	10.5	10.2	10.5	8.7	8.7
前年度比%	2.9	△2.9	2.9	△17.1	0.0
リサイクルするプラスチック	35.0	33.9	29.7	27.6	27.3
前年度比%	△10.3	△3.1	△12.4	△7.1	△1.1
その他のプラスチックなどのごみ	46.8	44.5	43.8	42.7	42.7
前年度比%	4.5	△4.9	△1.6	△2.5	0.0
ペ ッ ト ボ ト ル	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5
前年度比%	0.0	20.0	△16.7	0.0	0.0
資 源 ご み	96.4	88.6	83.2	79.8	70.7
前年度比%	5.1	△8.1	△6.1	△4.1	△11.4
粗 大 ご み	13.3	13.0	11.9	12.1	12.8
前年度比%	7.3	△2.3	△8.5	1.7	5.8
有 害 ご み	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7
前年度比%	△11.1	0.0	0.0	△12.5	0.0
合 計	877.2	844.4	820.9	790.3	769.4
前年度比%	△0.9	△3.7	△2.8	△3.7	△2.6



② 排出源別単位

(単位:g/日・人)

年 度	18	19	20	21	22
家 庭 系	617.5	595.2	581.0	565.3	552.3
前年度比%	1.0	△3.6	△2.4	△2.7	△2.3
事 業 系	241.2	232.4	224.1	213.5	206.8
前年度比%	△5.7	△3.6	△3.6	△4.7	△3.1
そ の 他	18.5	16.8	15.8	11.6	10.2
前年度比%	2.8	△9.2	△6.0	△26.6	△12.1
合 計	877.2	844.4	820.9	790.3	769.4
前年度比%	△0.9	△3.7	△2.8	△3.7	△2.6
全 国 平 均 (参 考)	1,115	1,089	1,033	994	
前年度比%	△1.4	△2.3	△5.1	△3.8	

(2) 一日当たりの収集・搬入量

① 分別収集別

(単位:kg/日)

年 度	18	19	20	21	22
燃 や せ る ご み	319,993	311,241	307,909	299,349	294,243
前年度比%	△1.2	△2.7	△1.1	△2.8	△1.7
陶磁器・ガラスなどのごみ	5,006	4,892	5,064	4,215	4,225
前年度比%	4.0	△2.3	3.5	△16.8	0.2
リサイクルするプラスチック	16,625	16,175	14,303	13,388	13,273
前年度比%	△9.7	△2.7	△11.6	△6.4	△0.9
その他のプラスチックなどのごみ	22,222	21,236	21,049	20,651	20,731
前年度比%	5.0	△4.4	△0.9	△1.9	0.4
ペ ッ ト ボ ト ル	248	259	237	231	243
前年度比%	△5.3	4.4	△8.5	△2.5	5.2
資 源 ご み	45,755	42,235	40,001	38,634	34,328
前年度比%	5.6	△7.7	△5.3	△3.4	△11.1
粗 大 ご み	6,302	6,208	5,737	5,873	6,230
前年度比%	7.5	△1.5	△7.6	2.4	6.1
有 害 ご み	387	378	370	334	358
前年度比%	△7.0	△2.3	△2.1	△9.7	7.2
合 計	416,538	402,624	394,670	382,676	373,631
前年度比%	△0.4	△3.3	△2.0	△3.0	△2.4

② 排出源別

(単位:kg/日)

年 度	18	19	20	21	22
家 庭 系	293,239	283,805	279,346	273,710	268,242
前年度比%	1.5	△3.2	△1.6	△2.0	△2.0
事 業 系	114,519	110,809	107,727	103,356	100,423
前年度比%	△5.3	△3.2	△2.8	△4.1	△2.8
そ の 他	8,780	8,010	7,596	5,610	4,966
前年度比%	3.1	△8.8	△5.2	△26.1	△11.5
合 計	416,538	402,624	394,670	382,676	373,631
前年度比%	△0.4	△3.3	△2.0	△3.0	△2.4

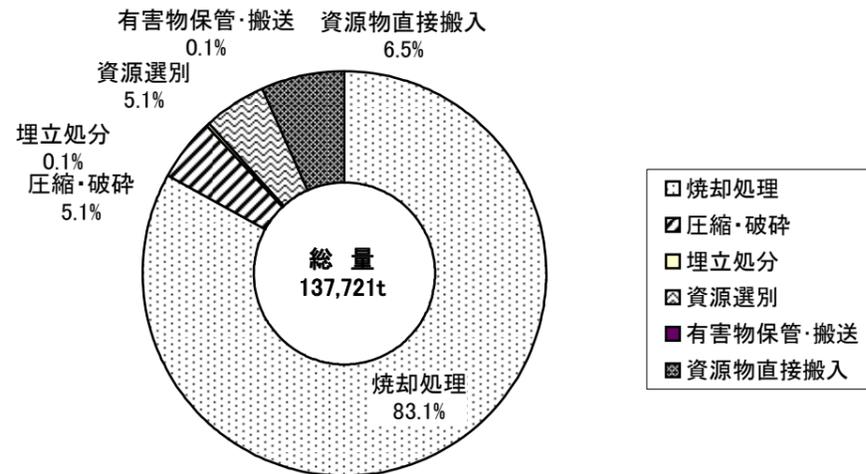
7. 平成22年度 ごみ処理量

(1) 処理施設別搬入・搬出量

(単位:kg)

施設名	種類	燃やせるごみ	陶磁器・ガラスなどのごみ	リサイクルするプラスチック	その他のプラスチックなどのごみ	ペットボトル	資源ごみ	粗大ごみ	有害ごみ	搬入量合計	資源選別残渣移送	粗大選別残渣	処理量合計	調整量在庫移送等	搬出量	搬出物・搬出先
① 焼却処理	六和CC									-			-		-	(※平成14年11月30日廃止)
	クリーンC	40,167,120								40,167,120			40,167,120		5,473,110	銚子市 474,900 市原工セメント 769,320 米沢市 1,281,520 小坂町 2,947,370
	和名ヶ谷CC	67,231,560			5,971,520			1,055,220		74,258,300	853,950	0	75,112,250		9,456,750	銚子市 242,790 市原工セメント 246,080 米沢市 2,316,470 小坂町 5,147,720 中野市 1,503,690
	合計	107,398,680	0	0	5,971,520	0	0	1,055,220	0	114,425,420	853,950	0	115,279,370		14,975,920	→粗大残渣 資源RC 46,060
② 圧縮破碎日暮クリーンC			4,844,640	1,595,300				545,050		6,984,990	169,390	0	7,154,380	△147,350	1,482,740	→圧縮ごみ 銚子市921,300 中野市561,440 →資源化 指定法人 4,781,390 →資源化 千葉市 216,720 →資源残渣 和名ヶ谷CC 401,860 資源RC 124,320
③ 埋立処分日暮最終処分場		148,600								148,600	2,186,950		2,335,550	248,000	1,811,510	→(日暮最終処分場直接埋立 1,811,510) →資源残渣 米沢市 372,850 →資源残渣 大館市 399,190
④ 資源選別資源リサイクルC			1,393,410				4,944,355	673,740		7,011,505	124,320	46,060	7,181,885	△326,316	3,874,419	→資源化物 資源回収業者 3,874,419 →資源残渣 ・日暮最終処分場 2,186,950 ・和名ヶ谷CC 323,390 ・日暮CC 169,390 →資源化 指定法人 301,420
⑤ 有害物保管資源リサイクルC									130,759	130,759		0	130,759	△12,929	117,830	有害ごみ 野村興産イトムカ鉱業所 30,040 ダイワスチール 87,790
⑥ 資源物民間業者直接搬入						1,434,070	7,585,200			9,019,270		0	9,019,270	△70,570	709,300	→資源化 民間業者 709,300 →資源化 民間紙問屋 6,747,200 ※布残渣 128,700 →資源化 指定法人 1,363,500
合計		107,398,680	1,542,010	4,844,640	7,566,820	1,434,070	12,529,555	2,274,010	130,759	137,720,544	3,334,610	46,060	141,101,214			

・処理形態別割合



(2) 埋立物発生量

発生量 (道路清掃・資源RC・日暮CC)	
陶磁器・ガラスなどのごみ	148,600 kg
資源残渣	1,235,500 kg
陶磁器等残渣	951,450 kg
合計	2,335,550 kg

(3) 埋立量

埋立量		
市内	日暮処分場埋立量 (資源・陶磁器残渣)	1,563,510 kg
	覆土量	248,000 kg
計		1,811,510 kg
市外	米沢(陶磁器・資源残渣)	372,850 kg
	大館(陶磁器・資源残渣)	399,190 kg
計		772,040 kg
合計		2,583,550 kg

(4) 市外搬出先別総括表 (資源化物を除く)

(単位:kg)

	市外搬出先	圧縮ごみ	焼却灰	資源残渣等	有害物	合計
最終処分	銚子市	921,300	717,690			1,638,990
	中野市	561,440	1,503,690			2,065,130
	米沢市		3,597,990	372,850		3,970,840
	大館市			399,190		399,190
	小坂町		8,095,090			8,095,090
有害	北海道北見市				30,040	30,040
	岡山県倉敷市				87,790	87,790
	合計	1,482,740	13,914,460	772,040	117,830	16,287,070

(5) 年度別焼却灰発生量 (施設別)

(単位:上段 kg/下段 %)

年度	ごみ焼却処理施設			合計
	六和クリーンセンター	クリーンセンター	和名ヶ谷クリーンセンター	
18	—	5,506,990	10,371,440	15,878,430
		1.2	△0.8	△0.1
19	—	5,593,860	9,935,780	15,529,640
		1.6	△4.2	△2.2
20	—	5,147,260	10,386,570	15,533,830
		△8.0	4.5	0.0
21	—	5,347,790	9,920,190	15,267,980
		3.9	△4.5	△1.7
22	—	5,473,110	9,456,750	14,929,860
		2.3	△4.7	△2.2

※ 焼却灰発生量には、市原エコセメント搬出分を含んでいます。

8. 資源化事業

(1) 資源ごみ収集(週1回ステーション収集)

① 資源リサイクルセンター及び民間処理内訳及び資源有償売払金額

処 理 内 容	重 量 (kg)
施 設 搬 入 量	13,345,245
(資源RC)	5,760,045
(民間紙問屋)	6,875,900
(民間再生業者)	709,300
資源選別重量	11,761,039
選 別 残 渣 量	1,612,390
資 源 化 率	88.1%
	(資源選別重量÷施設搬入量)

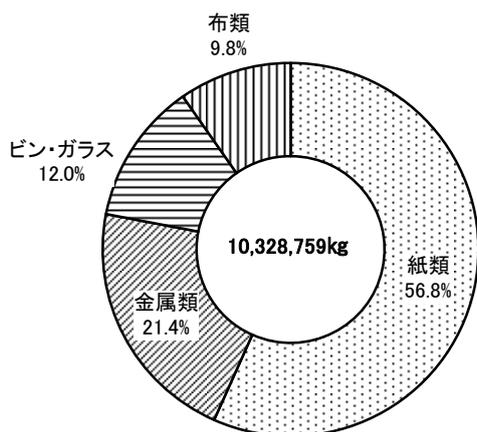
資源RC 有償売却内訳	有償売払重量 (kg)	売却金額 (円)	1kg当り単価 (円)
紙類	5,865,190	25,927,619	4.4
金属類	2,208,360	63,642,646	28.8
ビン・ガラス	1,244,499	657,669	0.5
布類	1,010,710	4,462,340	4.4
合計	10,328,759	94,690,274	9.2

注: 売払金額は税込み金額

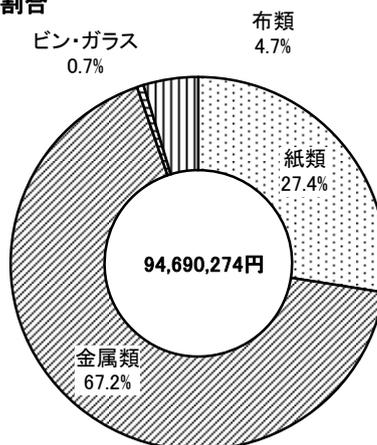
* 資源RC搬入量には陶磁器ガラスなどのごみ1,393,410 kg・民間再生業者搬入量にはペットボトル1,434,070kgを含みません。

注: 施設搬入量と(資源選別重量+選別残渣量)は、在庫量等のため同量になりません。

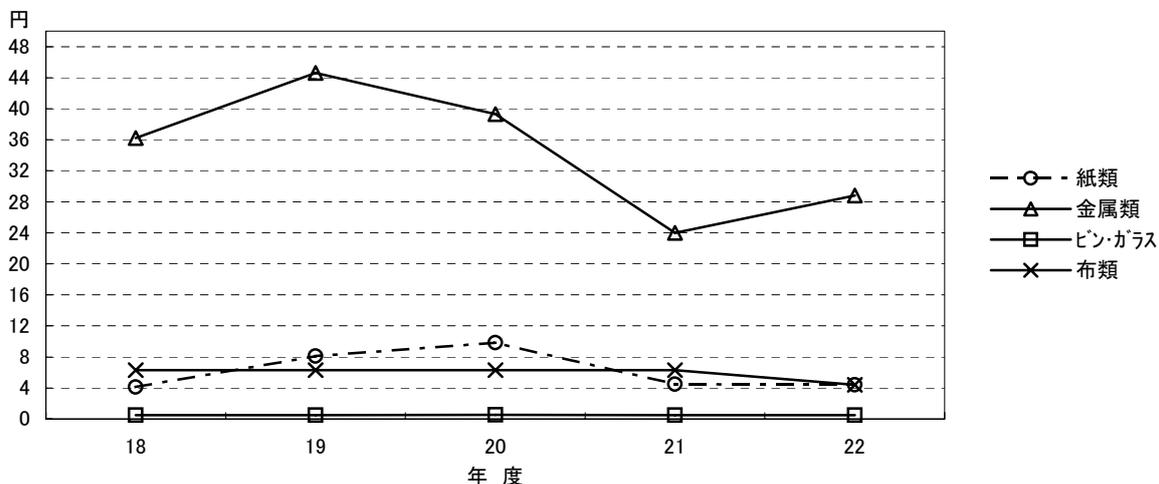
・品目別割合(重量比)



・売却金額割合



・有価物売払単価(1kg当)



② 資源ごみ年度別資源化量[重量比較]

(単位:kg)

年度	紙類 前年比 %	金属類 前年比 %	ビン・ガラス類 前年比 %	布類 前年比 %	合計 前年比 %
18	8,232,310 10.6	2,646,050 2.5	1,696,386 △6.8	438,510 27.8	13,013,256 6.8
19	7,372,420 △10.4	2,529,030 △4.4	1,633,843 △3.7	390,820 △10.9	11,926,113 △8.4
20	6,877,620 △6.7	2,567,850 1.5	1,726,705 5.7	401,010 2.6	11,573,185 △3.0
21	6,407,060 △6.8	2,660,260 3.6	1,701,870 △1.4	378,840 △5.5	11,148,030 △3.7
22	5,865,190 △8.5	2,629,920 △1.1	1,545,919 △9.2	1,010,710 166.8	11,051,739 △0.9

注:資源選別重量と資源化量は、在庫量等のため同量になりません。

(民間再生事業者による資源化量を除いている為)

③ 資源ごみ年度別有償売払金額[金額比較]

(単位:円)

年度	紙類 前年比 %	金属類 前年比 %	ビン・ガラス類 前年比 %	布類 前年比 %	合計 前年比 %
18	33,764,638 45.3	81,849,743 30.7	757,680 △7.6	2,762,613 28.1	119,134,674 34.1
19	59,777,652 77.0	95,984,289 17.3	708,152 △6.5	2,462,166 △10.9	158,932,259 33.4
20	67,510,124 12.9	86,434,875 △9.9	749,465 5.8	2,526,363 2.6	157,220,827 △1.1
21	28,514,881 △57.8	53,853,149 △37.7	729,696 △2.6	2,386,692 △5.5	85,484,418 △45.6
22	25,927,619 △9.1	63,642,646 18.2	657,669 △9.9	4,462,340 87.0	94,690,274 10.8

※ 消費税込

(2) 容器包装廃棄物の資源化

①プラスチック製容器包装

本市では、平成5年1月からプラスチック系ごみの固形燃料化事業を実施し、資源化を行っていたが、平成13年4月、ごみの分別変更により、従来の「燃やせないごみ」で収集していたプラスチック系ごみのうち、容器や包装に使われているプラスチックの分別収集を開始した。

これにより、従来、独自ルートで実施していたプラスチック系ごみの燃料化事業を平成13年3月で廃止し、容器包装リサイクル法に基づくリサイクルルートでプラスチック製容器包装の資源化を平成13年4月から開始した。

平成22年度 プラスチック製容器包装

	搬入量(kg)	搬出量(kg)
リサイクルするプラスチック	4,844,640	4,781,390
ペットボトル	1,434,070	1,363,500
合計	6,278,710	6,144,890

平成22年度

再商品化合理化拠出金・ペットボトル拠出金

	金額(円)
平成21年度再商品化合理化拠出金	116,067,807
ペットボトル有償入札拠出金	40,361,505
合計	156,429,312

②ガラス製容器

本市では、昭和53年から資源ごみとして、ガラスびんのリサイクルを独自ルートで実施してきたが、平成16年4月からは、ガラス製容器の一部（その他ガラス容器）を容器包装リサイクル法に基づきリサイクルを開始した。

平成22年度 ガラス製容器 搬出量

	搬出量 (kg)
その他ガラス容器	301,420

(3) リサイクル活動支援事業

従来、松戸市では、町会（自治会）単位による「リサイクル町会」制度により、市民主体の資源化を実施してきたが、町会の規模拡大等により担当役員の負担が大きくなり、実施町会数も減少したため、平成3年度から新たな「補助制度」により、リサイクル活動団体と回収業者に支援している。

なお、平成9年4月1日より補助金交付規則を奨励金交付規則に改め、更なる推進を図っている。また、平成9年7月1日よりペットボトルを対象品目として追加した。平成18年1月1日よりアスベストを含有する資源ごみが多いことから、その他金属類を対象品目から除いた。

この事業は、資源回収の拡大を図りつつ、資源ごみに対する公共関与を少なくし、市民の意識改革と主体性の強化を図るものである。

① 資源回収量（登録団体回収量）（単位：kg）

年 度	紙類	金属類	ビーン・ガラス類	布・綿類	ペットボトル	合計
18	20,230,340	2,613,652	3,330,517	857,130	1,209,460	28,241,099
前年比	△1.0%	△30.2%	△15.3%	△1.2%	6.7%	△2.8%
19	19,609,580	2,277,357	2,928,763	840,290	1,297,540	26,953,530
前年比	△3.1%	△12.9%	△12.1%	△2.0%	7.3%	△4.6%
20	18,048,860	1,078,108	1,511,938	809,520	1,298,190	22,746,616
前年比	△8.0%	△52.7%	△48.4%	△3.7%	0.1%	△15.6%
21	16,482,240	1,167,072	1,656,500	797,940	1,290,490	21,394,242
前年比	△8.7%	8.3%	9.6%	△1.4%	△0.6%	△5.9%
22	15,526,660	1,137,663	1,777,945	924,650	1,345,220	20,712,138
前年比	△5.8%	△2.5%	7.3%	15.9%	4.2%	△3.2%

② 登録団体数（年度末登録数）

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
459	465	470	472	472

③ 登録業者数（年度末登録数）

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
25	25	26	23	27

④ 集団回収奨励金交付状況

（単位：円）

年 度	登録回収団体		登録回収業者	
	交付額	1団体平均	交付額	1業者平均
18	66,157,878	144,135	183,650,269	7,346,011
前年度比	△1.5%	△4.3%	△11.4%	△7.9%
19	64,287,380	138,252	133,114,660	5,324,586
前年度比	△2.8%	△4.1%	△27.5%	△27.5%
20	55,878,752	118,891	126,599,670	4,869,218
前年度比	△13.1%	△14.0%	△4.9%	△8.6%
21	53,112,404	112,526	157,980,794	6,868,730
前年度比	△5.0%	△5.4%	24.8%	41.1%
22	52,186,036	110,564	167,451,535	6,201,909
前年度比	△1.7%	△1.7%	6.0%	△9.7%

(4) リサイクル率

（下段は全国平均値）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
市	28.0%	27.5%	24.8%	24.4%	24.5%
国	19.6%	20.3%	20.3%	20.5%	

※リサイクル率＝（公共資源化量＋集団回収量）÷（公共回収量＋集団回収量）

9. ごみ処理コスト

(1) 平成 22 年度処理経費

松戸市の清掃事業（ごみ処理及びし尿・汚泥処理）を実施するために、環境担当部が要した経費の総額（清掃費のみ）は、平成 22 年度 5,916,885 千円（清掃総務費 996,861 千円、塵芥処理費 4,502,192 千円、し尿処理費 417,833 千円）であり、松戸市一般会計歳出決算額 124,577,573 千円の約 4.7%を占めている。

清掃関係経費の推移（歳出決算額）

（単位：千円）

年 度	一般会計 決算額 A	清掃総務費 B（千円） B/A %	塵芥処理費 C（千円） C/A %	施設建設費 D（千円） D/A %	し尿処理費 E（千円） E/A %	清掃費計 F（千円） F/A %
6	110,722,051 △ 6.9	1,662,111 1.5	5,396,868 4.9	10,356,064 9.4	1,043,377 0.9	18,458,420 16.7
7	106,674,188 △ 3.7	1,665,799 1.6	5,415,976 5.1	2,531,007 2.4	952,861 0.9	10,565,642 9.9
8	106,048,392 △ 0.6	1,690,799 1.6	6,901,166 6.5	139,948 0.1	932,531 0.9	9,664,444 9.1
9	107,183,509 1.1	1,704,289 1.6	6,183,260 5.8	0 0.0	1,333,704 1.2	9,221,253 8.6
10	111,459,526 4.0	1,690,382 1.5	5,545,417 5.0	0 0.0	812,906 0.7	8,048,705 7.2
11	114,660,050 2.9	1,494,015 1.3	5,498,570 4.8	0 0.0	746,224 0.7	7,738,809 6.7
12	111,600,895 △ 2.7	1,433,533 1.3	5,841,567 5.2	0 0.0	689,208 0.6	7,964,308 7.1
13	115,520,146 3.5	1,401,784 1.2	5,628,297 4.9	0 0.0	604,263 0.5	7,634,344 6.6
14	113,904,026 △ 1.4	1,339,304 1.2	5,072,909 4.5	0 0.0	588,209 0.5	7,000,422 6.1
15	112,730,247 △ 1.0	1,194,538 1.1	5,059,451 4.5	0 0.0	597,269 0.5	6,851,258 6.0
16	121,040,947 7.4	1,228,358 1.0	5,565,595 4.6	0 0.0	564,968 0.5	7,358,921 6.0
17	107,525,981 △11.2	1,275,094 1.2	4,805,899 4.5	0 0.0	539,583 0.5	6,620,576 6.2
18	108,688,329 1.1	1,230,582 1.1	4,914,623 4.5	0 0.0	531,503 0.5	6,676,708 6.1
19	112,188,502 3.2	1,146,236 1.0	4,779,766 4.3	0 0.0	525,683 0.5	6,451,685 5.8
20	116,730,421 4.0	1,123,646 1.0	5,791,825 5.0	0 0.0	526,906 0.5	7,442,376 6.4
21	122,442,154 4.9	1,033,501 0.8	5,552,105 4.5	0 0.0	531,669 0.4	7,117,275 5.8
22	124,577,573 1.7	996,861 0.8	4,502,192 3.6	0 0.0	417,833 0.3	5,916,885 4.7

(2) ごみ処理コスト

- ① 平成 22 年度のごみ処理経費の総額は、6,740,845,720 円で、年間総ごみ量は、136,375,324 kgである。人口は、485,640 人。世帯数は、212,111 世帯である。

したがって、平成 22 年度のごみ処理経費を算出すると 1 トン当たり経費 49,429 円、市民一人当たり 13,880 円、一世帯当たり 31,780 円となる。

ごみ処理コストの算出

ア. 算出経費の区分

松戸市におけるごみ処理コストの算出については、i 総経費、ii 一般管理費、iii 収集経費、iv 処分経費の 4 項目に仕分けし、更に iv の処分経費について各処分方法毎に経費を算出している。

また、この経費算出に算入する経費の範囲は、予算科目にいう、清掃総務費と一般管理費（総務管理費）の一部人件費（給料・職員手当等・共済費）、塵芥処理費、その他の経費（建物減価償却、保険料、被服費、自動車減価償却、自動車共済保険料、自動車重量税等）を含め算出している。減価償却費等は耐用年数に基づく均等額償却法により、その他経費は現年度実績額により各項目に振り分けられ計算される。

イ. 歳出額の按分計算

一般管理費には収集・運搬・処分に関与しない、環境計画課（施設担当室含む）経費の一部と環境業務課ごみ減らし係経費を計上している。

施設担当室経費を一般管理費と各処分経費へ振り分ける按分方法は総経費から収集経費及び施設担当室経費を除いた額に対する一般管理費と各処分経費の経費割合でそれぞれ按分する。

収集経費には環境業務課経費（ごみを減らす係除く）を計上している。

処分経費は各施設毎の経費及び施設担当室経費の一部（上記按分方法による）を、それぞれ各施設毎に計上している。

埋立処分経費は、日暮最終処分場施設維持経費に焼却灰処理経費・不燃及び資源残渣処理経費を加えた額を計上している。

ウ. 単価の算出

上記のように算出された総経費を、年間総ごみ量で除した金額をトン当たり単価とし、10月1日現在人口で除したものを市民一人当たり単価としている。

(3) 平成22年度ごみ処理コスト

(単位：円)

	一般管理費 前年比 %	収集経費 前年比 %	処分経費 前年比 %	総経費 前年比 %
清掃総務費等	103,958,884 △4.8	209,276,472 6.4	620,467,349 △6.7	933,702,705 △3.9
塵芥処理費	236,299,241 0.5	1,584,991,771 △2.0	2,552,026,356 3.0	4,373,317,368 1.0
その他	78,592 △9.2	864,797 △21.7	2,961,027 △5.0	3,904,416 △9.4
減価償却費	0 0.0	3,093,376 0.0	1,426,827,855 0.0	1,429,921,231 0.0
合計	340,336,717 △1.2	1,798,226,416 △1.1	4,602,282,587 0.6	6,740,845,720 0.1

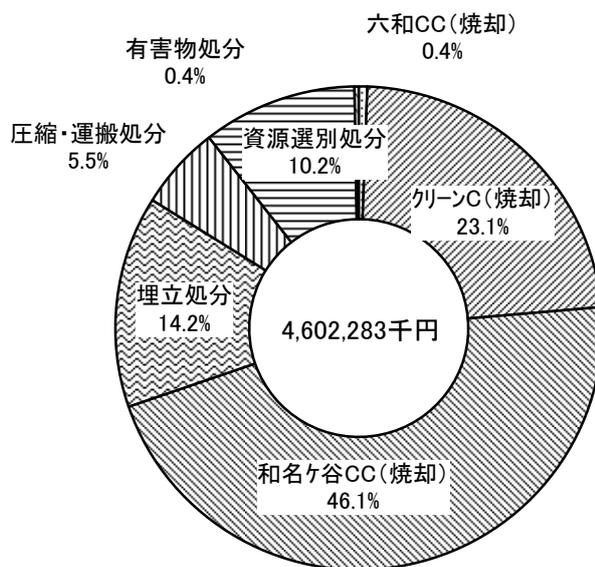
(4) 平成22年度処分経費・処分形態別内訳

(※六和クリーンセンターの19,922千円については施設の維持管理費用となります)

(単位：千円)

焼却処分			焼却処分計 前年比 %
六和クリーンセンター 前年比 %	クリーンセンター 前年比 %	和名ヶ谷クリーンセンター 前年比 %	
19,922 △5.8	1,063,921 11.5	2,123,518 △0.5	3,207,361 3.1
埋立処分 前年比 %	圧縮・運搬処分 前年比 %	資源選別処分 前年比 %	有害物処分(保管) 前年比 %
654,756 △1.1	252,360 △1.7	468,937 △10.4	18,869 △9.3

・処分経費割合



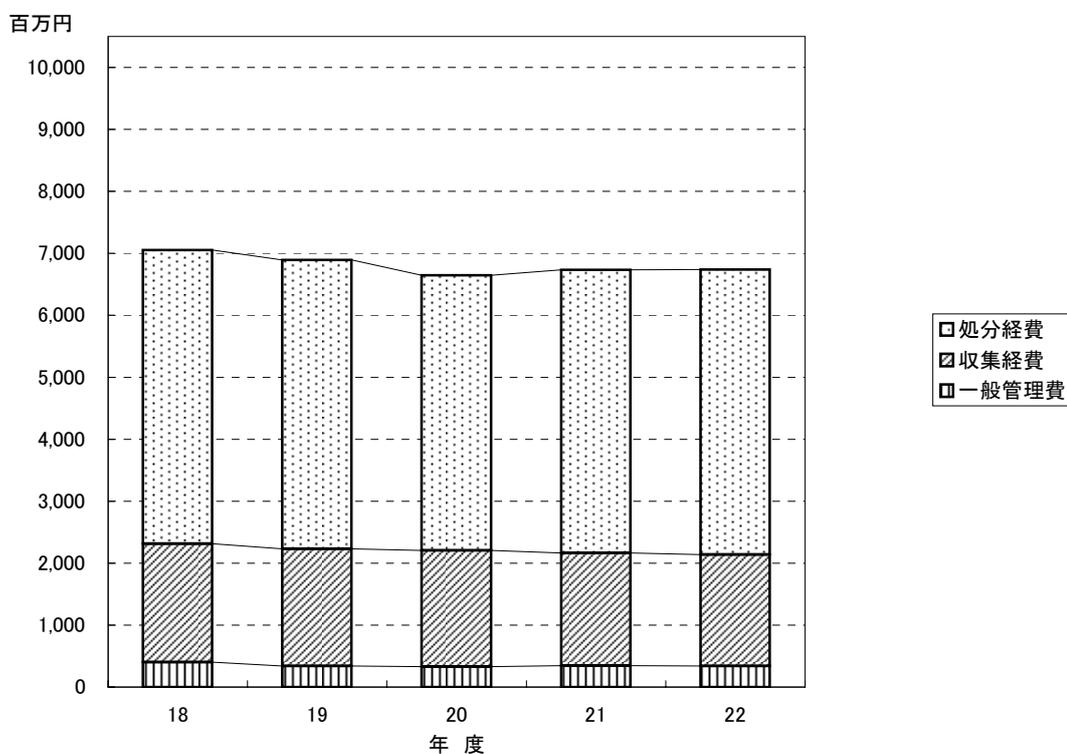
(5) 年度別経費の推移

① 総経費

(単位：円)

年 度	一般管理費 前年比 %	収集経費 前年比 %	処分経費 前年比 %	総 経 費 前年比 %
18	401,980,699 △9.9	1,912,634,495 △1.6	4,737,240,627 0.5	7,051,855,821 △0.8
19	338,426,388 △15.8	1,893,169,605 △1.0	4,664,380,578 △1.5	6,895,976,571 △2.2
20	331,722,925 △2.0	1,871,148,518 △1.2	4,443,380,700 △4.7	6,646,252,143 △3.6
21	344,464,396 3.8	1,817,815,272 △2.9	4,572,621,287 2.9	6,734,900,955 1.3
22	340,336,717 △1.2	1,798,226,416 △1.1	4,602,282,587 0.6	6,740,845,720 0.1

・総経費の推移

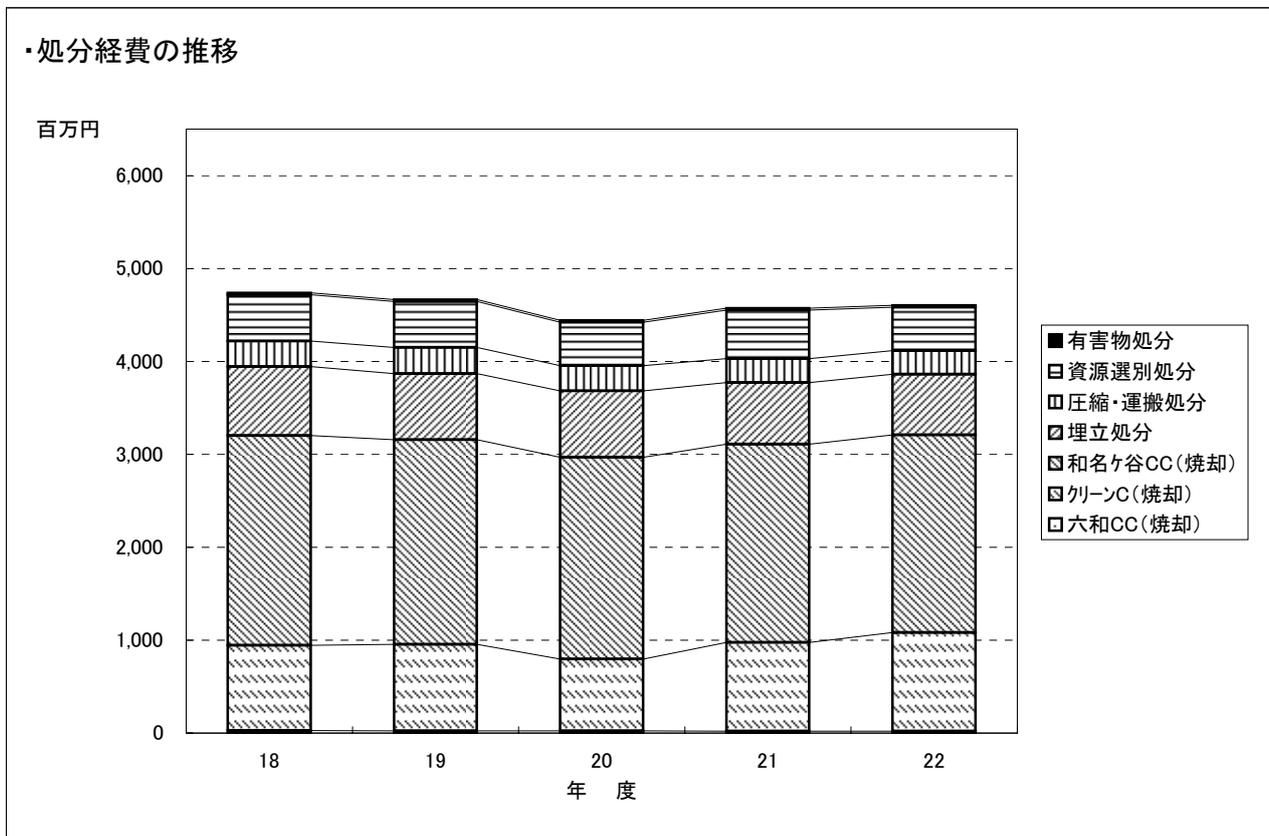


② 処 分 経 費

(単位：千円)

	18	19	20	21	22
焼却・六和CC 前年比 %	28,608 22.2	23,590 △17.5	22,694 △3.8	21,159 △6.8	19,922 △5.8
焼却・クリーンC 前年比 %	914,535 0.1	930,034 1.7	775,272 △16.6	954,043 23.1	1,063,921 11.5
焼却・和名ヶ谷CC 前年比 %	2,259,454 0.0	2,202,903 △2.5	2,171,071 △1.4	2,134,366 △1.7	2,123,518 △0.5
埋立処分 前年比 %	741,140 3.3	712,299 △3.9	713,361 0.1	662,218 △7.2	654,756 △1.1
圧縮・運搬処分 前年比 %	273,373 △3.0	282,701 3.4	270,699 △4.2	256,655 △5.2	252,360 △1.7
資源選別処分 前年比 %	499,225 0.3	492,203 △1.4	470,074 △4.5	523,372 11.3	468,937 △10.4
有害物処分 前年比 %	20,906 △5.6	20,651 △1.2	20,209 △2.1	20,808 3.0	18,869 △9.3
合 計 前年比 %	4,737,241 0.5	4,664,381 △1.5	4,443,381 △4.7	4,572,621 2.9	4,602,283 0.6

※ 埋立処分には、焼却灰及び不燃・資源残渣運搬経費を加えた額を計上している。



(6) ごみ処理単価

① トン当り経費

(単位：円)

	18	19	20	21	22
収 集 経 費	12,580	12,847	12,989	13,014	13,186
前年比 %	△0.5	2.1	1.1	0.2	1.3
処 分 経 費	31,159	31,653	30,845	32,737	33,747
前年比 %	1.7	1.6	△2.6	6.1	3.1
総 経 費	46,383	46,797	46,137	48,218	49,429
前年比 %	0.4	0.9	△1.4	4.5	2.5

② 一世帯当り経費

(単位：円)

	18	19	20	21	22
収 集 経 費	9,761	9,481	9,065	8,650	8,478
前年比 %	△3.3	△2.9	△4.4	△4.6	△2.0
処 分 経 費	24,176	23,360	21,526	21,759	21,698
前年比 %	△1.2	△3.4	△7.9	1.1	△0.3
総 経 費	35,988	34,536	32,198	32,048	31,780
前年比 %	△2.4	△4.0	△6.8	△0.5	△0.8

③ 市民一人当り経費

(単位：円)

	18	19	20	21	22
収 集 経 費	4,028	3,971	3,892	3,754	3,703
前年比 %	△2.1	△1.4	△2.0	△3.5	△1.4
処 分 経 費	9,976	9,783	9,242	9,444	9,477
前年比 %	0.0	△1.9	△5.5	2.2	0.3
総 経 費	14,850	14,463	13,824	13,910	13,880
前年比 %	△1.3	△2.6	△4.4	0.6	△0.2

V ごみ減量促進事業

1. ごみ減量促進事業の背景

松戸市は首都東京に隣接しており、東京のベッドタウンとして昭和36・37年頃から急速に人口が増加し、これに伴いごみの排出量も増加の一途をたどってきた。

これらの状況に対処するため昭和53年4月からごみの4分別収集(のち昭和59年4月から5分別収集、平成13年4月から8分別収集)を開始し、ごみの減量化及び資源化の促進を図っている。

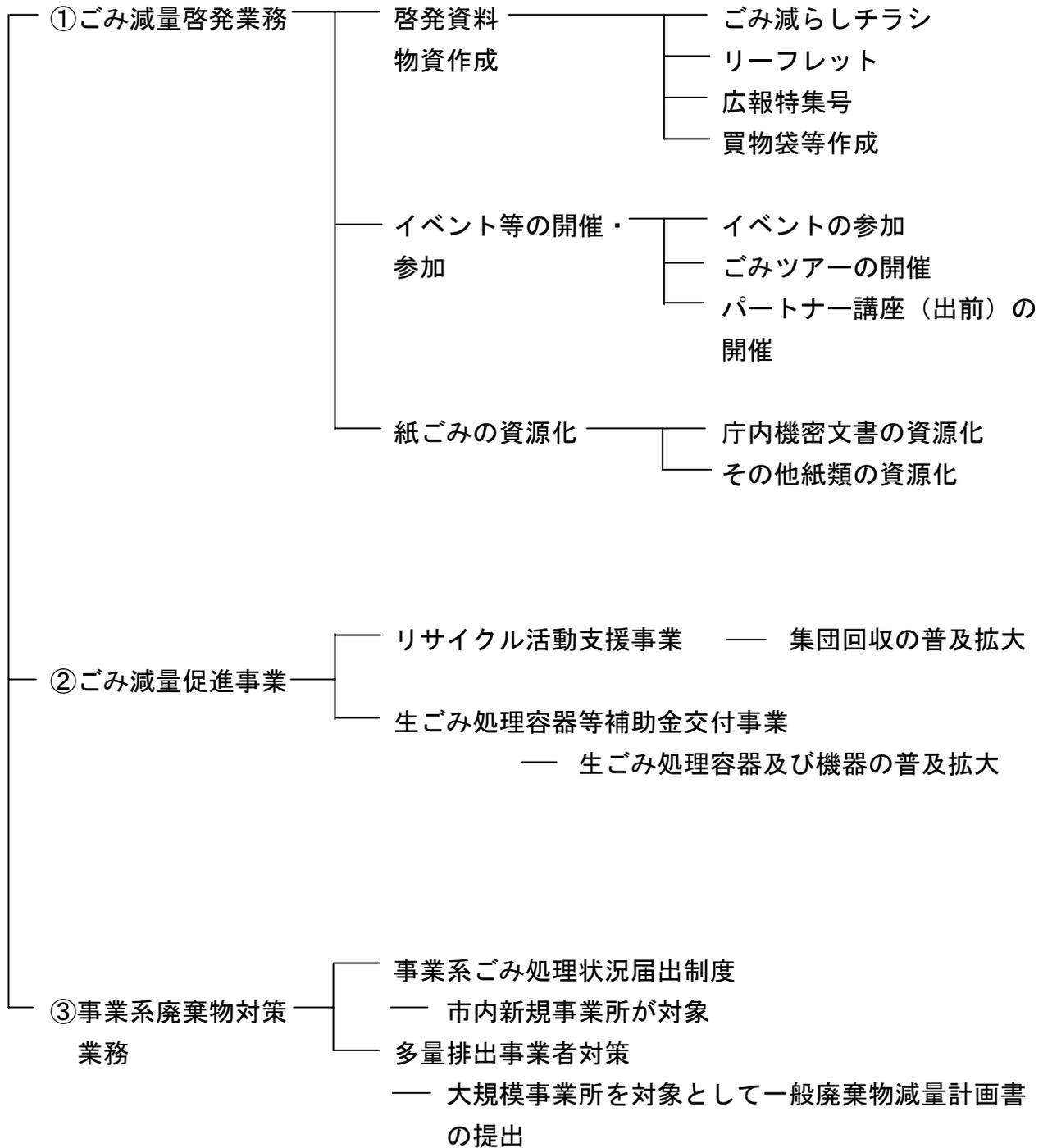
しかし、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動により、使い捨て製品等が多量に廃棄され、増加したごみの処理が大きな問題となってきた。

この問題を解決するためには、従来の社会経済活動の在り方やライフスタイルの見直しをするとともに、廃棄物を循環資源と位置づけ、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできるだけ低減する、いわゆる「資源循環型社会」の構築を図ることが必要となってきた。

「単に燃やして埋める」という従来の処理体制から市民・事業者及び行政が一体となって強力にごみ減量施策を実行していくための、ごみ減量化、再資源化の体制を整えていくことが急務となってきた。

そのため、ごみ減量促進事業を具体的に実行する課として、平成2年4月に「ごみを減らす課」を設置し、その後、初期の目的を達成することができたことから、平成8年4月から清掃管理課(現環境計画課)へ統合し、「ごみを減らす係」として従来どおりの事業を促進することとなった。(平成15年4月、環境業務課へ統合)

2. ごみを減らす系の業務体系



3.ごみ減量啓発事業

①ごみ減量啓発業務 ー広報の果たす役割ー

ー啓発資料物資作成ー

松戸市では早くから「ごみ減量」に目を向け、市広報紙を通じて積極的にごみ減量の重要性を市民に訴えてきた。

排出源から最終処分されるまで、また、ごみを再資源化するルートを正しく知ることにより、ごみに対する意識は変わってくる。市民へ訴え、啓発していく方法として、視覚に訴えるポスターや広報の果たす役割は大きい。

平成2年度から、市民向けチラシ「松戸ごみ減らし」を発行し、各号ごとにメインテーマを掲げ12号まで発行してきた。

平成13年度から「まつどりサイクル通信」を発行している。

1号：タマゴ1個分の減量が、松戸市を変える。

2号：ごみにするか、資源にするか、紙一重。

3号：NO!という主張（ごみ拒否権一買わない、持ち込まない、捨てない）

4号：企業努力で実施したい「ごみ減量大作戦」

ーワタシを活かすチャンスをください

5号：ごみ減量の鍵は、あなた自身が握っているーこれも貴重な資源

6号：「事業ごみ」は、すべて事業者が自己責任があります。

ーお客様の厳しい目が光っているー

7号：「市制施行50年記念ポスター」みんなが望むリサイクル

8号：EMボカシでごみ減らし

9号：「リサイクル都市まつど」へ！

[ごみの分別] [再利用] [ごみ減らし]にご協力ください。

10号：リサイクルマークの確認から始まるペットボトルの再生システム

11号：事業系ごみ（一般廃棄物）の減量とリサイクルにご協力ください。

12号：リサイクル都市「松戸」づくりへ（再生品使用の促進）

また、五市「松戸市・市川市・船橋市・千葉市・柏市（平成7年度加入）」による合同事業として、ポスター、リサイクルノート等を作製し、ごみ減量リサイクル意識の高揚を図った。

平成3年～5年 ポスター作製

平成6年～7年 リサイクルノート作製

平成8年 トイレットペーパー作製

平成9年 リサイクルシャープペン作製

平成10年 リサイクルボールペン作製

平成11年 買物袋作製

平成12年 リサイクルボールペン作製

平成13年 リサイクル蛍光ペン作製

平成14年～ 買物袋作製

－イベントの参加－

桜まつり・松戸まつりなどのイベントに参加し、一人でも多くの方にごみ減量を呼びかけている。

－ごみツアーの開催－

隔月に1回実施。ただし、7・8月は親子ごみツアーとして実施している。
なお、20名前後の団体に申し込みがあれば随時実施。

[平成22年度実績] 14回実施で187名の参加

－パートナー講座（出前）の開催－

市民団体等の要望により、平日・休日を問わず午前9時から午後9時までの間で2時間以内とし、開催場所を市内に限定し実施している。講座内容は、ごみの分け方・出し方、減量の工夫に関するノウハウやごみの処分、リサイクルの方法などの情報を提供している。

[平成14～22年度実績] 55回実施で1,710名の参加

－紙ごみの資源化－

ごみ減量啓発事業では、市民の意識を行動に移していくための具体的な事業を企画し、市民の積極的な参加を呼びかけ、ごみの減量化の促進と意識の高揚を図っている。

松戸市でも昭和53年から実施している庁舎内紙ごみの資源化を、平成2年より更に回収品目を細分化し、名刺の大きさから資源化を図るとともに、職員への意識の啓発を図っている。

さらに、平成3年度から機密文書の資源化に取り組み、平成22年度は72,400kgを回収し、資源化を図った。

②ごみ減量促進事業

－リサイクル活動支援事業－

平成3年度よりごみの減量及び資源の有効利用のため、リサイクル活動を推進する団体及び回収業者に対し、奨励金を交付している。

奨励金は市に登録している町会・自治会などの団体、回収業者を対象に「びん・缶・紙・ペットボトルなど」の資源を回収して業者に引き渡した場合、団体と回収業者に品目に応じた奨励金を交付している。

平成23年3月末現在登録団体数	472団体
平成23年3月末現在登録業者数	27業者

[平成23年度第1期奨励金単価]

回収団体	・紙類等、空き缶類、ガラスびん類	2円/kg		
	・ペットボトル	10円/kg		
回収業者	・紙類等	1.0円/kg	・ペットボトル	62.5円/kg
	・空き缶	10.0円/kg	・ガラスびん類	30.0円/kg

※平成23年4月1日現在の相場を参考として算出、四半期毎の相場により変更の予定有り。

－生ごみ処理容器等補助金交付事業－

平成元年度よりごみ減量化対策の一環として平成5年度までの期間、家庭用生ごみ処理容器購入者に対して1基につき3,000円（ただし1世帯2基まで）補助してきた。

平成6年度からは、容器の対象品目（EM密閉専用容器）を拡大すると共に、家庭用生ごみ減量化機器も補助対象として、生ごみの減量化の促進を図っている。

補助金額（100円未満切り捨て）

生ごみ処理容器	購入金額の1/2	1基につき	6,000円を限度
生ごみ減量化機器	購入金額の1/3	1基につき	20,000円を限度

平成22年度末までの実績

コンポスト他	4,921基（平成元年度からの累計）
EM密閉専用容器	3,233基
生ごみ減量化機器	3,291基

③事業系廃棄物対策業務

平成6年度より施行された「松戸市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」により、増え続ける事業系ごみ対策として新たに2つの制度が導入された。

その1つが大規模事業所（延べ床面積3,000㎡以上、小売業にあつては500㎡以上）に対して「事業系ごみ管理責任者」の選任と「減量計画書」の提出を義務付けた「多量排出事業者制度」である。

さらに、市内の全ての事業者を対象としてごみの排出形態と排出量の実態を届出る「事業系ごみ処理状況届出制度」を導入し、事業者の自己処理責任の明確化を図っている。なお、平成23年度から既存の事業者に届出制度が浸透したことから、新規事業者のみを対象に届出書の提出を求めることとした。

これらの制度を通じて、事業者指導を積極的に推進し、事業系ごみの減量化・適正処理を図っていく。

VI 生活排水処理

1. 生活排水（し尿・浄化槽汚泥）処理の現状

(1) 収集運搬

現在、し尿収集は全面委託の体制とし、し尿浄化槽汚泥の収集は許可業者が実施している。

近年の収集状況について、し尿収集量は下水道の普及により年々減少の傾向にあり、し尿収集車両の減車が行われている。

また、浄化槽汚泥の収集量についても年々減少の傾向がみられる。

(2) 処理施設

昭和56年2月に稼働した東部クリーンセンター（200kℓ／日）において処理をしている。（※平成21年3月までは処理能力300kℓ／日）

この処理施設は、地下方式を採用し、周辺との景観に配慮した上で処理水質の向上、臭気対策等厳しい公害対策を講じている。

さらに、周辺地域の住環境の向上と調和を図るために周辺施設を公園化し、地域住民をはじめ広く市民の憩いの場・健康づくりの場として活用できるよう各種スポーツ施設・集会所・老人福祉センターを設置し、地域の文化施設の核としての位置づけされた施設を兼ね備えている。

また、現状の処理施設について、長年使用により設備の機能が低下してきているものについては、計画的に施設整備を実施している。

(3) 今後の問題点

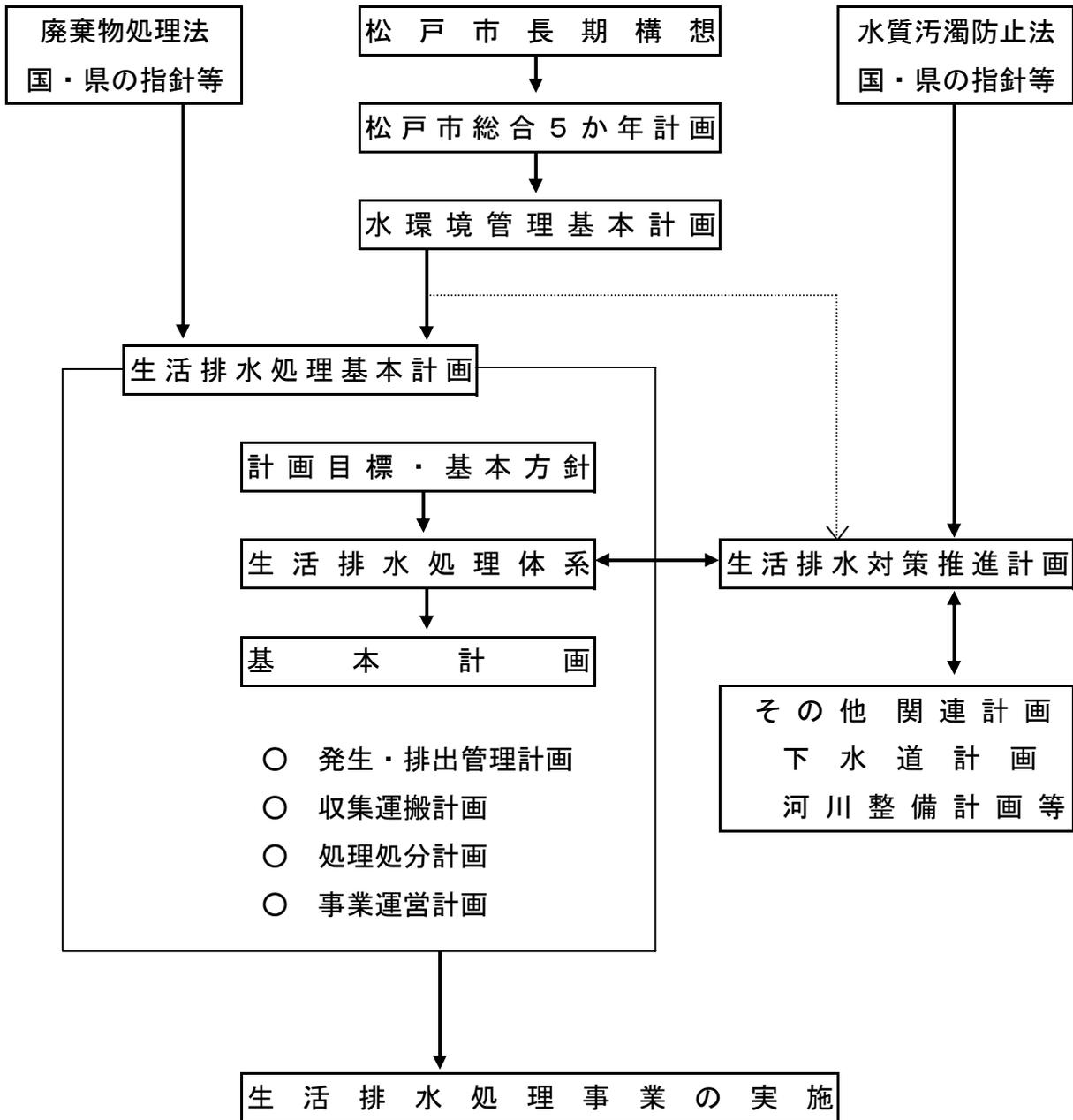
下水道の普及が進み、し尿・浄化槽汚泥が減少した時に処理等について新たな施設の維持管理が必要になって来る。

(4) 生活排水処理基本計画（し尿処理計画：旧名称）

平成3年度事業として、前述の問題解決の方向性等を定めた生活排水処理基本計画を策定した。

この計画は、生活排水（し尿・浄化槽汚泥）の処理だけに絞ったものではなく、図（次ページ）のような体系のもとに位置づけされ、生活排水対策推進計画と密接な関係をもっている。

生活排水処理基本計画体系図



平成22年度 し尿・浄化槽汚泥 フローシート

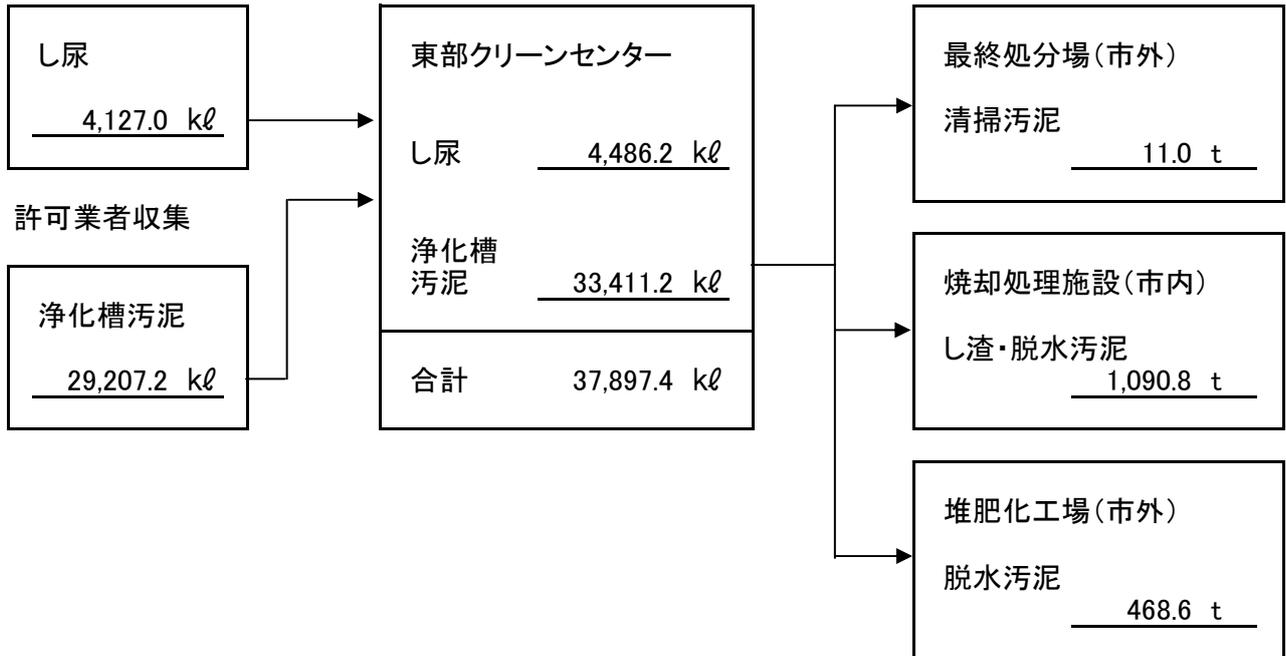
総し尿・浄化槽汚泥収集量 33,334.2 kℓ

収 集

処 理

処 分

委託収集



参 考 : 日平均収集量

し 尿		浄 化 槽 汚 泥		合 計	
収集日平均	暦日平均	収集日平均	暦日平均	収集日平均	暦日平均
13.9	11.3	98.7	80.0	112.6	91.3

2. し尿・浄化槽汚泥収集搬入量総括表

(1) 月別・種類別搬入量

(単位：kℓ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
し尿	378.1	367.5	340.7	331.6	290.9	326.8		342.9	357.1	372.8	340.9	331.1	346.6	4,127.0
浄化槽汚泥	2,727.4	2,480.9	2,812.2	2,603.1	2,346.8	2,274.9		2,262.2	2,214.1	2,817.4	2,003.9	2,180.7	2,483.6	29,207.2
合計	3,105.5	2,848.4	3,152.9	2,934.7	2,637.7	2,601.7		2,605.1	2,571.2	3,190.2	2,344.8	2,511.8	2,830.2	33,334.2

(2) 月別・種類別処理量

(単位：kℓ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
し尿	402.0	415.0	450.0	375.0	350.0	300.0		345.2	408.0	372.0	368.0	330.0	371.0	4,486.2
浄化槽汚泥	2,821.9	2,891.1	3,391.0	2,857.2	2,911.5	2,381.6		2,708.5	2,361.3	3,201.6	2,466.6	2,671.1	2,747.8	33,411.2
合計	3,223.9	3,306.1	3,841.0	3,232.2	3,261.5	2,681.6		3,053.7	2,769.3	3,573.6	2,834.6	3,001.1	3,118.8	37,897.4
日平均処理量	107.5	106.6	128.0	104.3	105.2	89.4		98.5	92.3	115.3	91.4	107.2	100.6	103.8

(3) 月別・種類別汚泥搬出量

(単位：t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
し渣・脱水汚泥量	103.1	100.3	110.0	111.8	89.5	88.0		24.6	60.0	108.9	92.1	94.8	107.7	1,090.8
清掃汚泥量													11.0	11.0
堆肥化汚泥量	33.1	30.6	48.9	33.9	30.5	21.6		45.1	25.9	30.5	30.2	54.2	84.1	468.6
収集日	25	23	26	26	26	24		25	24	25	23	23	26	296

3. 収 集

(1) 生活排水処理形態別人口 (平成22年10月1日現在)

(単位：人・世帯)

総 数		水洗化（下水道）		し尿くみ取り		浄化槽利用	
人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
478,767	212,165	357,471	159,237	4,879	2,334	116,417	50,594

※平成15年度より生活排水人口は、松戸市住民基本台帳人口表の数値を使用

(2) し尿収集 (平成23年4月1日現在)

- ① 収集方式 全面委託（1業者による）巻末名簿参照（P188）
- ② 収集に要する車両 3台（2人乗車）
- ③ くみ取り回数
 - ア. 人头制（一般家庭） 原則として月1回または月2回
 - イ. 従量制

}	会社・工場・共同便槽のアパート ・簡易水洗式便槽・仮設トイレ等	} 希望回数
---	------------------------------------	------------------

(3) 浄化槽汚泥

- ① 収集方式 許可業者収集（11業者）巻末名簿参照（P190）
- ② 収集に要する車両 22台
- ③ 保守点検 維持管理業者と利用者の個別契約
- ④ 清 掃 許可業者と利用者の個別契約

(4) 平成23年度し尿収集委託料（消費税を除く）

【基本額】

月額 5,431,200円

【従量制】

《雨 水》

1ℓにつき 13円45銭

《休 日》

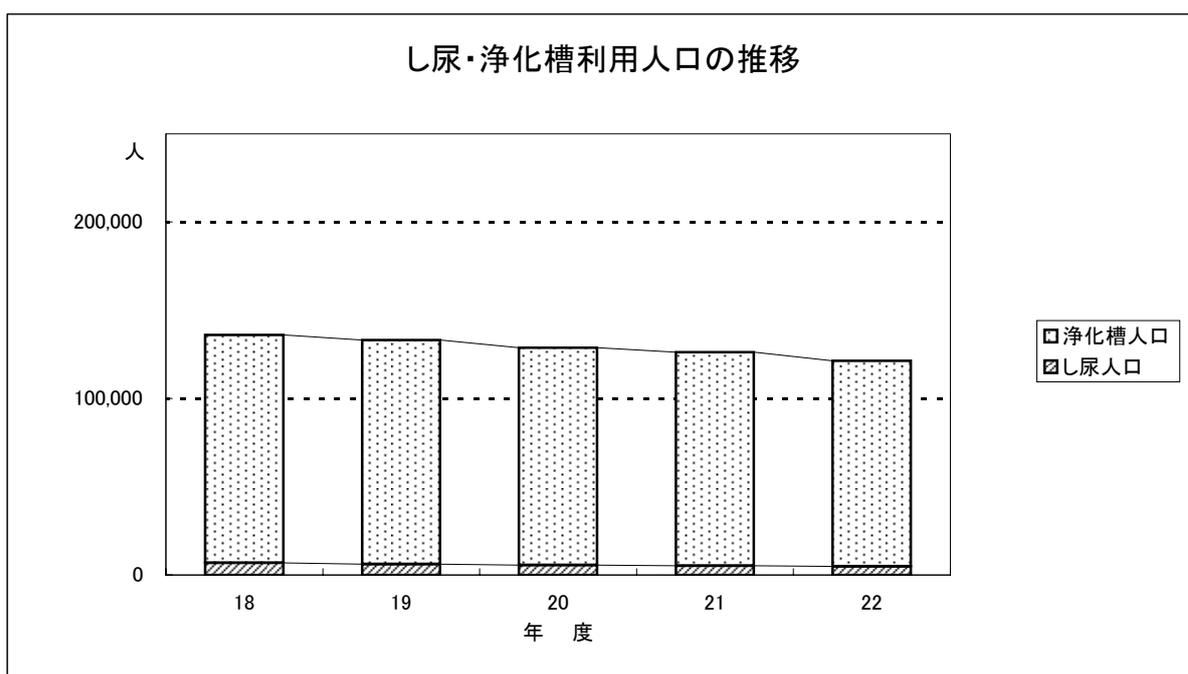
1ℓにつき 15円20銭

(5) し尿収集運搬と減車対策の状況

年度	収集必要台数	減車台数	減車時の対策等（代替業務等）
15	5	0	減車なし
16	4	1	ごみ収集業務へ代替
17	4	0	減車なし
18	4	0	減車なし
19	4	0	減車なし
20	4	0	減車なし
21	4	0	減車なし
22	3	1	減車（代替業務なし）
23	3	0	減車なし

(6) し尿・浄化槽利用世帯及び利用人口(各10月1日) (単位：世帯・人／(%))

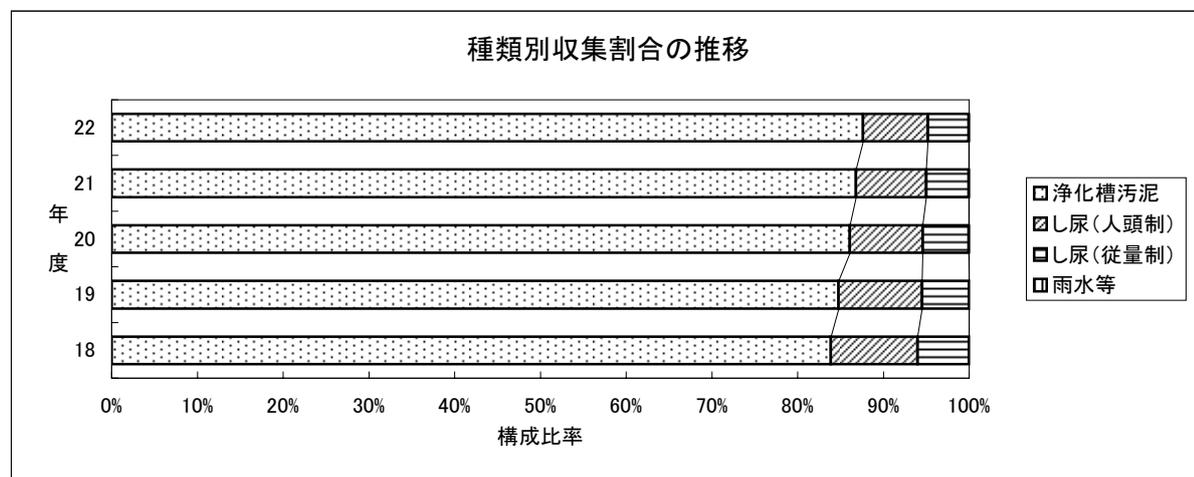
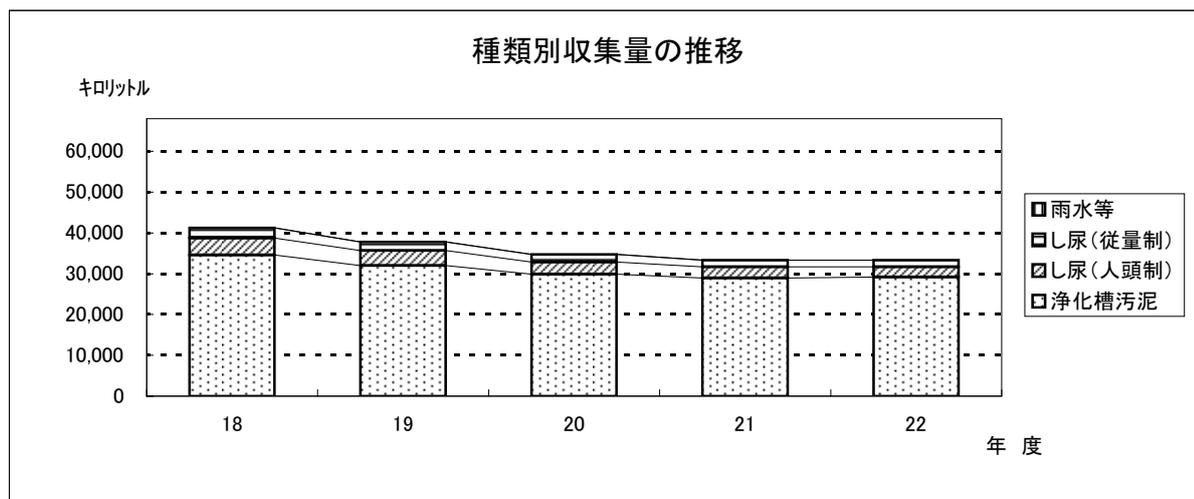
年度	し 尿		浄 化 槽		合 計	
	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口
18	3,171 △10.3	6,802 △12.5	54,070 △3.4	129,200 △4.7	57,241 △3.8	136,002 △5.1
19	2,907 △8.3	6,165 △9.4	53,993 △0.1	126,989 △1.7	56,900 △0.6	133,154 △2.1
20	2,688 △7.5	5,619 △8.9	52,951 △1.9	123,107 △3.1	55,639 △2.2	128,726 △3.3
21	2,476 △7.9	5,215 △7.2	52,366 △1.1	121,018 △1.7	54,842 △1.4	126,233 △1.9
22	2,334 △5.7	4,879 △6.4	50,594 △3.4	116,417 △3.8	52,928 △3.5	121,296 △3.9



(7) 年度別収集実績

(単位：kℓ 下段：対前年度比(%))

年度	し 尿				浄化槽汚泥	合 計
	人頭制	従量制	雨水等	計		
18	4,163.5 △13.1	2,479.2 △6.8	0.0 0.0	6,642.7 △10.8	34,559.6 △5.8	41,202.3 △6.7
19	3,682.2 △11.6	2,065.7 △16.7	5.6 5.6	5,753.5 △13.4	32,016.8 △7.4	37,770.3 △8.3
20	2,953.4 △19.8	1,873.9 △9.3	7.6 35.7	4,834.9 △16.0	29,909.4 △6.6	34,744.3 △8.0
21	2,735.5 △7.4	1,656.4 △11.6	10.1 32.9	4,402.0 △9.0	28,954.3 △3.2	33,356.3 △4.0
22	2,520.8 △7.8	1,597.2 △3.6	9.0 △10.9	4,127.0 △6.2	29,207.2 0.9	33,334.2 △0.1

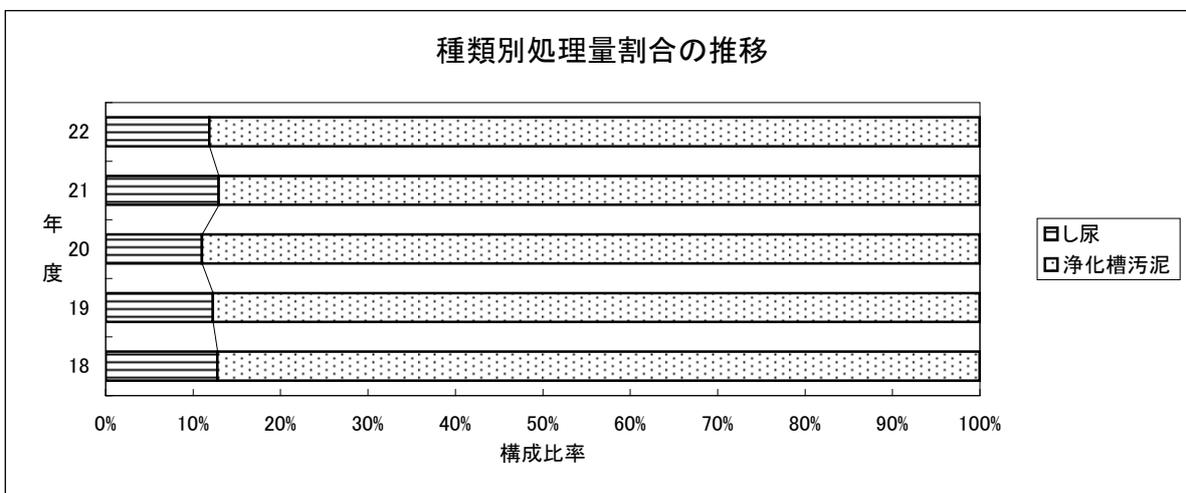
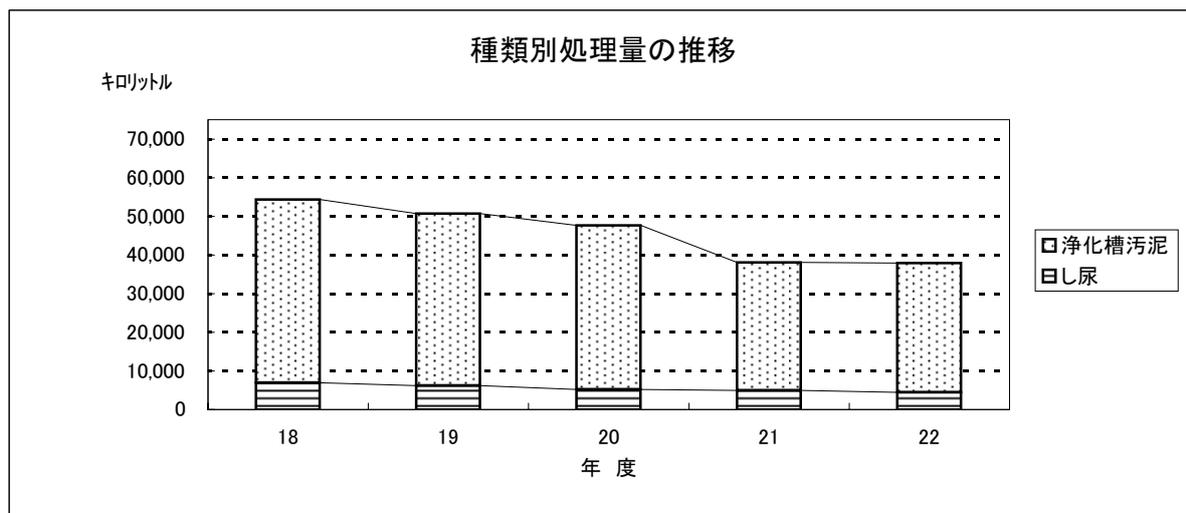


4. し尿処理

(1) 年度別実績

(上段:処理量(kℓ)・下段:対前年比(%))

年度	東部クリーンセンター処理		
	し尿	浄化槽汚泥	計
18	6,932.0 △8.8	47,411.5 △3.9	54,343.5 △4.6
19	6,227.0 △10.2	44,510.6 △6.1	50,737.6 △6.6
20	5,245.0 △15.8	42,430.8 △4.7	47,675.8 △6.0
21	4,923.9 △6.1	33,194.0 △21.8	38,117.9 △20.0
22	4,486.2 △8.9	33,411.2 0.7	37,897.4 △0.6

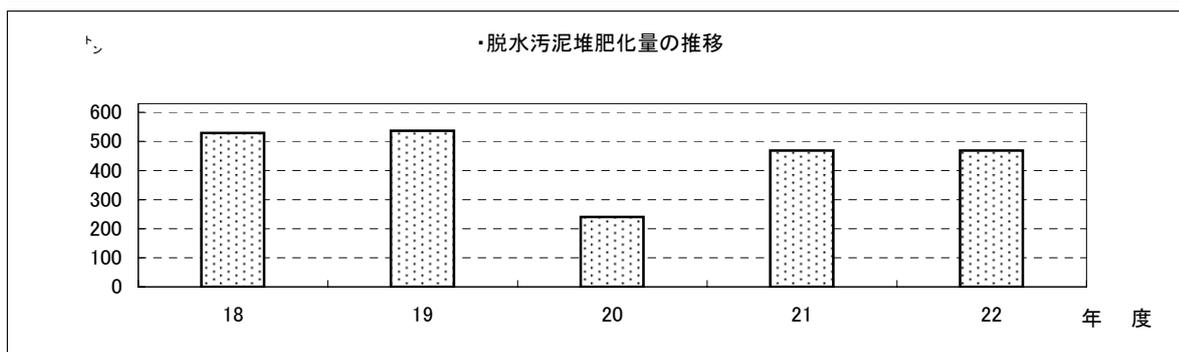
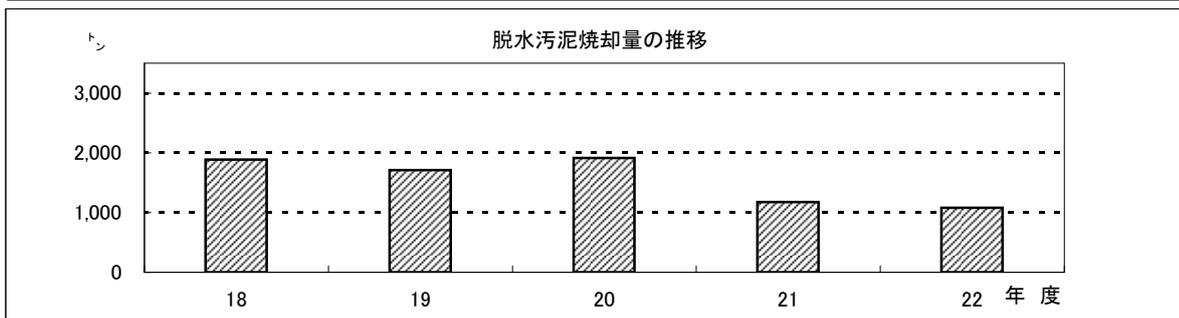
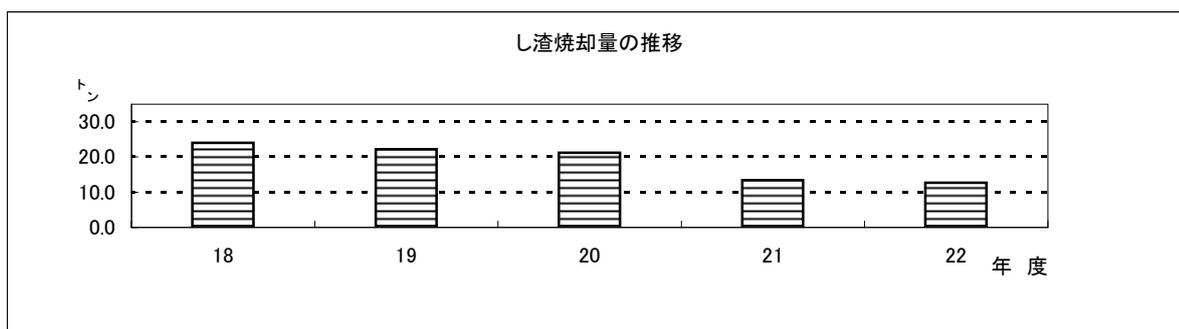


(2) 処理に伴うし渣・脱水汚泥等発生量

(上段:kg/下段:%)

年度	し渣量		脱水汚泥量			
	年間焼却量	日平均量	年間焼却量	日平均量	年間堆肥化量	日平均量
18	24,000 △4.8	65.8 kg/日	1,883,800 △5.4	5,161.1 kg/日	528,800 1.3	1,448.8 kg/日
19*	22,200 △7.5	60.7 kg/日	1,711,800 △9.1	4,677.0 kg/日	536,800 1.5	1,466.7 kg/日
20	21,200 △4.5	58.1 kg/日	1,913,000 11.8	5,241.1 kg/日	240,500 △55.2	658.9 kg/日
21	13,400 △36.8	36.7 kg/日	1,173,200 △38.7	3,214.2 kg/日	468,500 94.8	1,283.6 kg/日
22	12,700 △5.2	34.8 kg/日	1,078,100 △8.1	2,953.7 kg/日	468,600 0.0	1,283.8 kg/日

※日平均量:年間発生量/当該年度暦日(年度*366日/年) 12年度以降は焼却停止(場外搬出)



5. 経 費

(1) 年 度 別 総 経 費

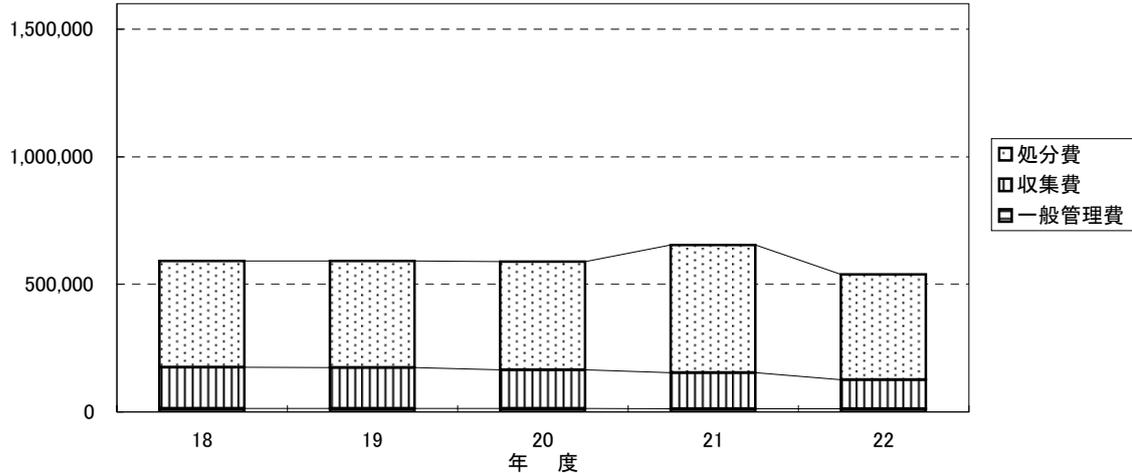
(上段：金額(円) 下段：前年比(%))

年 度	一般管理費	収集費	処分費	合 計
18	13,766,934 △2.5	161,593,697 △6.4	416,785,543 △3.1	592,146,174 △4.0
19	13,750,857 △0.1	160,282,437 △0.8	417,067,275 0.1	591,100,569 △0.2
20	13,676,262 △0.5	151,999,619 △5.2	423,174,357 1.5	588,850,238 △0.4
21	13,114,939 △4.1	140,435,590 △7.6	500,595,558 18.3	654,146,087 11.1
22	13,079,779 △0.3	113,818,925 △19.0	412,610,508 △17.6	539,509,212 △17.5

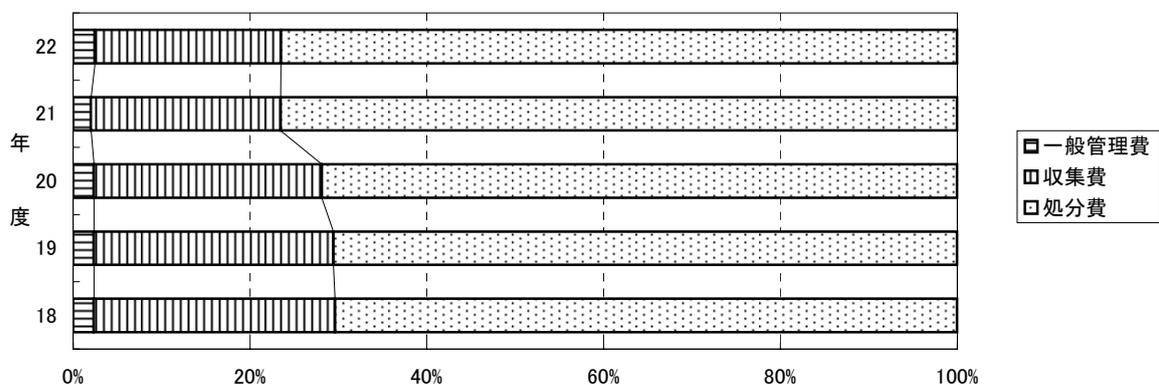
※平成13年度～平成20年度までは、他市からのし尿受入に伴う「し尿処分負担金収入」を処分費から除いています。(H18年度 94,887,946円/H19年度 90,039,404円/H20年度 92,733,790円)

・し尿総経費の推移

*千円



・経費比率の推移



(2) 単 位 当 り 経 費

① 利用一世帯当りの経費

(単位：円／(%))

年 度	収集経費	前年比	処理経費	前年比	総経費	前年比
18	50,960	4.3	7,281	△16.9	10,345	△0.2
19	55,137	8.2	7,330	0.7	10,388	0.4
20	56,547	2.6	7,606	3.8	10,583	1.9
21	56,719	0.3	9,128	20.0	11,928	12.7
22	48,766	△14.0	7,796	△14.6	10,193	△14.5

※ 収集経費は汲取り世帯のみ、処理経費と総経費は汲取り世帯と浄化槽世帯の合計で算定。

② 利用一人当りの経費

(単位：円／(%))

年 度	収集経費	前年比	処理経費	前年比	総経費	前年比
18	23,757	7.0	3,065	△15.8	4,354	1.2
19	25,999	9.4	3,132	2.2	4,439	2.0
20	27,051	4.0	3,287	4.9	4,574	3.0
21	26,929	△0.5	3,966	20.7	5,182	13.3
22	23,328	△13.4	3,402	△14.2	4,448	△14.2

※ 収集経費は汲取り人口のみ、処理経費と総経費は汲取り人口と浄化槽人口の合計で算定。

③ 収集量1kℓ当りの経費

(単位：円／(%))

年 度	収集経費	前年比	処理経費	前年比	総経費	前年比
18	24,327	5.0	9,211	0.6	13,087	1.2
19	27,858	14.5	9,963	8.2	14,121	7.9
20	31,438	12.9	10,919	9.6	15,194	7.6
21	31,903	1.5	13,133	20.3	17,161	12.9
22	27,579	△13.6	10,888	△17.1	14,236	△17.0

※ 収集経費はし尿のみ、処理経費と総経費はし尿と浄化槽汚泥の合計で算定。

